吉林旗人が執政に接見「點環画

を聞いてゐるが、

すか日登 りが代表部に反した決議教が小委を見たので、繋が然間を見合の標底は管質能に非然なが、然所委員會の標

おさてる事等の 名さてる事等の

正式可決の段取さしたい

上げた中止し、米公使ジョンソン上げた中止し、米公使ジョンソン

總會を再召集か

紛爭解決せざる場合

が続いる家天上空へ飛ん。 がフォッカー がフォッカー

ッたビラな窓外の家下 と投げ落とた、窓外の家下

び極まった記者は汗ばむ手に最後 一振りのピラル粉に「萬器無概」 「滿洲國家萬談」の銀片は天降る

要堂の傍廊、道家常年廊などの傍廊 を子単生が慶識と、東台、午前十時電楽館の が地で開始し、廊廊及び廊殿の印 が地で開始し、廊廊及び廊殿の印 が地で開始し、廊廊及び廊殿の印 が地で開始し、廊廊及び廊殿の印 で子単生が慶識さらて載さ、普通

は、総事に関する事性及び説明越一一座總會が集か要するものらといの解決に對する勢力亦を奏した時一座就是經第十五條第三項の理事會 環総事業解決の場合に移る際は今の決定すべき常便委員會の極限は 公表す、に膨胀され第十五條第四の決定すべき常便委員會の極限は 公表す、に膨胀され第十五條第四の決定する。

國際聯盟主支

問題

る、此様

の途なからむか。

附し、粉楽に

に配って之を続止しな

いて意要に腹を開きや部次長の人は十十級低式終了後假軸政府にお

2

ればなられ。

門たる場面

一般で純政の萬談、満洲國萬識か三 一般で純政の萬談、満洲國萬識か三 一般で純政府に頭者、孫指揮官の教 一般で純政府に頭者、孫指揮官の教

の盛況さであった『長春電話』

重要法令協議

整びを抱き長春さらては朦朧以來一般民衆級二千何れも包みきれぬ

や…軍司令部低震の東接、ホテ のがフォッカー機は機省を廻らし かがフォッカー機は機省を廻らし

一大月 は単生物

れば今日

のである、配して常代委員會 であ事、その委員數を十八であ事、その委員數を十八

起草了る

米聯隊の

祝賀飛行便乘記

人が集ふて祝賀式の質最中だ。

まれ、全市民の系融金がは熱強され、早朝から整線と戦争の色に何

さ萬殿に打ち続き、えもい

男女學生から成る

上京延期

像性を滑りなく総つた十日の城内

の色紙を天空に打ち撒き、

敷嶌枚の五色

自動車が嵌んで日流費取り 自動車が嵌んで日流費取り

春光に躍動する大地に

建國祝賀ビラを撒

のであ

麥同關議長

表さしては何だも申上げられぬ が三千萬民衆の東望を貢ふて執 が三千萬民衆の東望を貢ふて執 が三千萬民衆の東望を貢ふて執 で、記か、兄は多忙さ 見えて最近二、三ケ月少とも音 になった。

溥執政分弟

溥傑氏談

感激、歡喜の市民

これん野龍する等

一萬餘名のデモ

昨日長春の建國祝賀

- 三日頃長春へ行く

政治を期待

れた『長春電社』

代表部成行きを注目

小委員

文統戦を全版に取って財機をさしてゐる版は、滿洲事件を含む事となるからこの點(ジュネーザ十日登)決議交融章委員會の大勢は既に決したので、日本代表部は九日夜直に總督製策を

重大問題なり

とし政府

段決定する模様である、

交渉開始さるとせば英、米、佛等は参加せずい、一般には一般によるとせば英、米、佛等は参加せずい、

参加せず三支産援

財政部總長

さ見られてゐる

新國家の法律

政府から公布

親任式る一

閣僚

もあります。東京

* 後にの東京生活射年間の東京生活射年間の

依然も

使たらん

法院長の椅子は趙氏に落つくも 橋場ださもいはれてゐるが総局 のて充分活動したものかではこ

西本願寺

發表

とる

未決定の立法院長にはかれて超成 間氏の低齢へ見なかつたのは、氏 はやがて満洲圏が帰國に公使を設 はやがて満洲圏が帰國に公使を設

立法院長未決

院院 長長

その機能組ま

は重

日本軍の撤退方法に限定し、

何等政治的條件を附さわざ留保附きで交際に維禁

氏の意向を徴した上面答する等で、

支那側は討議の範圍を停戦實現

國民政府態度を協議



決議 に交渉開始提議

調目銀行」「窓通石坊 舌成製版的 界の大 の他につき報告無談した

藏相園公訪問

界の一般規感、金融経識事際、滿時四十分機公を訪び現下財政經濟、

【上海九日歌】陸殿隊の機報によれば十九給軍は行場を失い数々南 市、龍等が蔵に静楽し、之がため 市、龍等が蔵に静楽し、之がため をいまれば、と十七神、七十八 支那軍待機狀態

崑山附近に集結し

支那政府の 軍事區域

その総総な記載してゐる、その総の間では四節軍事所域に別け軍備を設置を表してゐる、その総

重光公使、英公使を通

防備擴 支那側

滿洲國

▲長江流域 ▲黄河流域 上海周圍

ちった

各地に防禦施設

肉策に狂奔してゐるさ 對日軍事會議 上海に送るなご最後の苦

名古屋婦人の 血染の國旗

艦を爆破すべく着水巧なるものを機能水震を動散して延浪中の我軍

・ 『上海十日巻』安保大路は午前十一時十分出置郷土で英継郷小空館ケー 「「上海市団髪郷を観察し像頼兵総配」を行つた

安保大將戰線視察

集權制確立

相當の時日を要せん

新滿洲國家最高機關の人事任命と をこれり、養美されたが深天、吉林 要龍江三省長は從釈道り輸式数、 要能力、即出山の三氏が彩低すること さいなりこの三氏が彩低すること で長春を離れるがこれがため右言

金州の祝賀

・ しのさ思ばれる酸して精決定要表 ・ 無龍江脚沿山の三氏はそれぐ(低) ・ 無龍江脚沿山の三氏はそれぐ(低)

の他都法令等の無後施計論ななし は同り夜に入りても執政府か出で は同り夜に入りても執政府か出で くさもこと屋三日中にはではれる ので思ばれる確しておける表表は連

國務院總理鄉交背氏外の他都法令等の長後的。 人權保险條金

會語レコー

た、之は王正廷が英米の誤解を恐ったい之は王正廷が英米の誤解を恐 央全體會議で野路國交出復問題に 對露國交回復 口副總裁の 副機裁は村上、首藤の麻 1全朝後間から南京第日登 汪緑館に何順 意見一致せず 薄儀氏に祝品

れ、強硬に反對したためであ

が一大変なが、での交換部別は根部であるため情や理事も一行と 対に上京賞職理事を協力強と一般 までは旅客機を利用して上京する 妻さ打合はせた達げる必要が生じが上京用館について無那共内田郷 が上京用館について無那共内田郷 波峰間のみ十一日出数すること 日本側の整覧代表二宮駅兵司会官 変婦くして観省長官、並に超市長がきらびやかに居並び未替有の盛

奉天の建國祝賀會

盛觀を呈し

み 支那に現存する動能の能元素は なるが酸に、之を自日に幅して之 なるが酸に、之を自日に幅して之

がで開催された、出席者は前周回 なべて開催された、出席者は前周回 なだ 中日正午より省政府大郷堂に 成拠あり、最後には

満洲を騙り

參會者千餘人

許さす、村は世界空和の維持の上で和解手段以外の数数を取むるなと。 で和解手段以外の数数を取むるない。

なる正常印解代訴を提致するを発するの機和被素画に無で を書いてなる正常印解代訴を提致するを発する、妲上傑悲したる一画の記録 の上 て外くので和論者は便城國際職監 其影響さが、電大毘漁漁院にして 根達 に出訴せざるやと問ふものあらむ これを伸張機關に附近するは整く に出訴せざるやと問ふものあらむ これを伸張機關に附近するが慰う場合 完全に認められる所にあらずや、 においては、カに依つて其正常極 がきるに認められる所にあらずや、 においては、カに依つて其正常極 を書人に製行を加ふれば、書人 一部を完成するが思う場合 能で があるを選近の結果、終に妨害 おい の呼が事性に行ったる一回の記述 を書くしままでを加ふれば、書人 会を実践するの機和被表ものな。 なる正常印解であるにおっても、 においては、カに依つて其正常極 られる所におっては、カに依つて其正常極 られる所におっては、カに依つて其正常極 られる情に出っては、カに依って其正常極 られる情に出っては、カに依つて其正常極 られる情によの表現、終に妨害 とていらざるが思う場合 能で

類例を見ざる

し、如何に正常にして有力なる

なる正常自衛行動を提致するを発がては、該國は自分を規約又は

てもが然りで、自衛機は

石

井菊次

進則 呈見

(野英語リーダー(全人参) (野英語リカード(月1回) (野英語リカード(月1回) (野英語リカード(月1回) (野英語リカード(月1回) (野英語リカード(月1回)

無要・一ヶ月一回甘桑 は今一ヶ月一回甘桑

一れの宅もらら「絶英今平るの社り語語と 見る成獨毎開の有好語こ和人扉會第はでそを せ 。 績智日講講名のをそ來には各二既はれ見満 ら先がで二小座なチ準飛りる。 大のになら給す

よ見證學間卒三とンすの況開語に本識かて ° 片ヂ聞!本せ以の業月耳スる武來くを出語で?は何假にのをら上自者かかだに器!! ° 知世だあ英英ん名充一 °片デ聞

調方より Br よりの

本校

藤特派戦ンは九日同地に急行した 地域を守つたボクラニチナヤ在部 が大の安否をたどすべく記者(職

地や鴻鑾には旅近赤軍がどし地や鴻鑾には旅近赤軍がどし地で鴻鑾には旅近赤軍がどし、地の神響をある、又極端かソウエート呼ば

題報を添ふ

地や鴻鑾には旅売表章がごらく から來た一邦人の談に依ると同 地や鴻鑾には旅売表章がごらく

白さら歌人は全く戦災な監視化でて秘密の輸進を除いでゐるので赤

好きの際西亞人が相互に立話しな日本人では經繁接近しない、又話

意見具陳する所あつたが陸根は語 調査研究中であるが來る十二日殿性をの他國家の重要問題に默する ては目下滿洲における影楽狀態の聞き公允訪ひ滿洲新國家、上海事 【東京特體十日整】祝務省におい【東京九日愛】荒木陸根は九日西

打工人 (東京十日数) では、北島 の監察施設を立案する事になる部 内地米 一三二二六四、六七三石一都独穴の清鏡社でに在京谷大學監 線施原書記館等 B離の上報さして表の分に飛鏡・十日正午途に報告を確定の清鏡社でに在京谷大學監 線施原書記館等 B離の上報さして表の分に飛鏡・十日正午途に報告を提供の 1 大名北南道が十二百年級に報告を開始の清鏡社でに在京谷大學監 線施原書記館等 B離の上報さして表の分に飛鏡・十日正午途に報告を記述する事になる部 内地米 一三二二六四、六七三石

(他族人良氏のために市會)

清島、渡邉昭氏は交

すたさはいへその部目は自からこので、その記載時に不成が小学を組みていた。 一覧に解処たり、一些を通じて此種が の失敗、逸話は箇所に残された▲ 変数な性縁だけに返角小事を順み を通じて此種が

拓務省が専門家招待

內地米見積高

書記官渡滿

述べたが一公は何な

皇軍の東部線進出に

警戒する

東支の貨車牛敷を持出す

日家であり、只一人もて恐が新國と一大を「致慰を有してゐるが、彼等は一大人を大きった。然と墓事の出誠に依て仕舞つた、然と墓事の出誠に依て仕舞った、然と墓事の出誠に依て不住職能に誠裕を楽して居るのは、第3ソウエート戦

す。 を対解さして大に論じ大に主張し たとは人も知る通り▲そのと なの態度は先う

一孤立無援の居留民を訪ふ 不安の國境都市ボクラに 陸相語る

日左の通り数令された

が明瞭さなつたので臨時職會単特の根の追ば内根自身は静低の恋思なき事

| 本管物局長さ同車して来低した、
車にて来低した、車中指輪警務事であった。

追

を特に破格の原記を以上 と前の功績を録せられ

であり、かつ一家原野でもあつた は「腹る野話でいる」(面白いエピは「腹る野話でいる」(面白いエピな」)

一游の上十一午後四時五十分養

學術的研究に基

3

滿洲農業施設立案

辭任せず

内相は臨議前

日

類の道徳、人類の仁愛さ稀する下るの謗を見れない。之れを人思想の範圍内に於ける道徳仁愛

聯盟委員

態度には真に敬服

四月下旬に來滿豫定

すらさは傷中

さが如何に質らい祝遊にさつて 一根ががめつたさうです、このこ 概がは如りませんが三月分の月 四かは如りませんが三月分の月

ればかりか今年は如何なる原

職に就て毎月四日送の定め

父

接待役を動めた河相外事課長談

リットン卵初め調査委員の連中リットン卵初め調査委員の連中 を注だけに皆立派な人達である 自分は一行について一週間程店 つたが、リットン卵等は日本の が、正直なる應接振り、誠意 ある態度には非常に滿足して砂 た 流 石にみな頭のよ

が なった 中概内機目下の無駄を場った。 中機の機能のは、この場合は能性を中心をは出来得る際り登録との時代を中心をは出来得る際り登録される。 この場合政権の教育となる。 この場合政権の教育に関係を対しての数になる。 この場合政権を対しての数になる。 この場合政権を対しての数になる。 この場合政権を対しての数になる。 この場合政権を対しての数になる。 この他の数に数る。 この他の数に数る。 この他の数に数る。 この他の数に数る。 この他の数に数る。 この他の数に数る。 この他の数に数る。 この他の数に数となる。 この他の数になる。 この他の。 この他の数になる。 この他の。 この他の数になる。 この他の数になる。 この他の。 政務調査會な開き選舉法改正特別。【東京十日餐】民政憲は九日午後 民政政務調查會 腰け器田瀬治氏以下七氏を駆けた下十氏を駆け又継や輸正委員會を変して無いのできる。 ◆ 単校から 10 でであります、 20 であります、 20 であります、 20 であります。 20 であります。 20 であるが一般であるが一般であるが一般であるが一般であるが一般であるが、20 であるが、20 であるが、20

滿鐵入社希望者 本年は特に多い 七十五名採用に二千名應募

東京特體九日豊 浦健東京支社 において本年度採用すべき社覧は 技術方館の者四十五六名、事物が 面の者三十名であるが、之に默し での者三十名であるが、之に默し なごさ、相談に來る向きもある方面の注目が魏べて、滿洲に向ってゐることだけば、否定出來ない事實である

拓務省ご

打合のた

村上理事上京

市況强調

り党々質手覧つかす高値に
地分さ共に國際職監控転の
地分さ共に國際職監控転の

就任受諾の理由

高山新東拓總裁語る



して準備打合せに

辯護士會總會

業生送別會 高紫葉の壁臓に代目を鑑されている。 でフノ連環などの除し 大幅がおになり合味無臓 でフノ連環などの除し が高な性一同は十日午後

一際原野でもあった。職に大連の一異彩

度い着を他所に

本版分は十一日教表 を職分は十一日教表

線」た教行で受闘者に配布もま 社はギナーは「滿洲周延岡記 連川建國記念號 各品反落

一四、二四四、六五九 一一五、八八一 一六、一三六

ほんこん丸船署

・常市は剥含み商駅を呈す ・営市は剥含み商駅を呈す 内地株保合 當市弱含み

况(十 世

市



18三品被場配りを輝へ常市資物相常あり、麻袋は硬らず 総糸定期 値 段 枚 敷 銘柄 約定期 値 段 枚 敷 銘柄 約定期 値 段 枚 敷 金柄 カ元 二〇同 一九月限一五五六 二〇同 一八月限一五五六 二〇日 十月限一五五六 二〇日 十月限一五五六 二〇日 十月限一五五六 二〇日 十月限一五五六 二〇日 十月限一五六 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |



参票保合 ***四回三十一邦八分の一な人

一二二後 五四四間 九五四

賣發:愈·說小o題問

大会を表現している。 不四三一四四八

粧品は

電話六六〇六番 寺藥 局

復だどにか一入處愛は男は変なるところの場合をとれているという。 を主たるというではれている。 でろうの場合ではない。 を対した。 をがした。 を

は何を秘めてゐるか? を懊惱歡喜せしめた名 小記簿推蔵形新加へられた。

他人 人ごとではない 成代人です か足元が危

カタガウサ

3

歌書機典式を駆行することになり 中間を動してそれら、盛大な卒業 中間を動してそれら、盛大な卒業

0

業 市

式 內

日 各

取 IJ 學

◇校

連 卒

女

お子たち

部者は三河町市宿下宿

病精合學、特別大博士の場合、特別大博士の場合、大型語に良別くが成立、三共商の大型語に良別くが成立。

讓店鄉人、子供

店

ジャー

でせうがこれも五個二十後位ンドルのついた四輪の子供印

くつも挿し芽が出来ます

のやがて端されて都い人々に贈る言歌は……?

或る人は質社會の職業に、また或る人は家庭に変りますが、つてゐたのに、もうその好學校を率製する目が近づいてゐまってゐたのに、もうその好學校を率製する目が近づいてゐまべ學校を卒へて、憧れの好學校へ入つたのは昨日とばかり思

ı

草(シベラス) オーカヤツリ カヤッリの葉を一寸位の

♦、同じなのです、精地病にしま

た子供たちの姿が、以一だり、り長い間二軍窓にさちこめられてゐ

昨年より大分安い

れてるます、大殿豊や中央公職のれてるます、大殿豊や中央公職のはちきれていて大殿等のはちき

賑はす餘興ご接待

置すぎ

早いのは四、五日で根を下ろ

◆西洋の自由な思想が日本へ輪できないのです、で先づ紹覧の第一本に影響能は都監験を指は、た持つてある者でなければなられる前の観さん常微女らのお母さが進歩してあるさは呼らながら遺れる前の観さん常微女らのお母さが進歩してあるさは呼らながら遺れる前の観さん常数がら網覧さが進歩してあるさは呼らながら遺れる前の観さん常数女ものお母さが進歩してあるさは呼らながら遺れる前の観さんでは一條代は健康な鬼壁を置きないのです。で先づ紹覧の第一本の声音の自由な思想が日本へ輪できないのです。で先づ紹覧の第一本の声音の自由な思想が日本へ輪できないのです。で先づ紹覧の第一本

幼い魂を育てる 春の乳母車 性の智識がない様です。



信用ある店の 確實な良品

日午前九時戦を近く難な関ける事 洋行の新譜レコード、コンサート用品駅合院が販賞會はいよく一十 通り辞版さして日素支店並に山梨本社主鑑の単生版、墨用品及子供 の申込にも思する筈です、既報の 東古、日本無象友 関語では、「一年」を の田洋行、白木屋 うな情感な或は数音能な映鑑を 内田洋行、白木屋 うな情感な或は数音能な映鑑を 店、滿書堂文具店 「映寫機によつて子供のよろこびさ」 に、滿葉毛織大連 時の二回にわたつてパテーベビー を いった。 「一年」 學用子供用品の陳列會 満洲牧場から智順した特乳や湯茶 借度 定住宅、星点 貸家 いろく

に生れて間らないがちゃんなどに いちん見かけるのもこのごろのよ

乳母車や三線車にのつた小さい子

を歩

が、今年の新型は車艦のさい

つたのです

の自行もしますと毎日五百名を除って表示要素會社が贈の樹本キャ 女家 花澤町及水が 附属安居アパート 料調者館庫 六倍漫町一三

女家 若狭町二二 質問で 鶴見 Ħ

でせう、内地では修製のもよく出 なさころから抗極式のものが一般 なさころから抗極式のものが一般

最かごく 脱倒に 即買もすい ある マスリン等

七元 療治お望みの方は 2110一番 電八九四八番 2

家政婦(A)透派遣) 附添婦科(A)透派遣)

12

院

島州州大大種 で、質易を 未成犬、売賞に備られ

思われ 電話低利無手数料職通電七二六九番大連春目町向陽町 2 本部 職職で名義鰻更せでさる。 ・ 本部 職職で名義鰻更せでさる。 ・ 本部 職 で名義鰻更せでさる。 ・ 本部 職 電七六九一番 電話の金融 では大連家舎裏人る ・ 本部 職 電七六九一番 電話の金融 では大連家舎裏人る

製る番犬、警察犬、 製る番犬、警察犬、 大連市大江川四番地介 大連市大江川四番地介 大連市大江川四番地介

pompeian

優雅な香り

地肌からの美しさに附く

ボンピアン粉おしるいは其の香り味しくりゃも良く ノビも好く競々しくお肌の個質を増す専想的な粉封

割る所の著名報貨店・小園物化粧品店・製店及消費組合にあり

白·淡紅·黃色·肌色·

ポンピアン製品 マツサージクリーム

デ ー(養)クリーム

ナイト(夜)クリーム ロースクリーム

水おしるい日本・タルク

院長伊藤義廣電六四七三 類町停前大連博**愛**家語桐 類町管前大連博**愛**家語桐

へ紀ノ國屋質店儀 大洋社覧言語 其他御相談に願う二葉 間の 保険即日立替前借失効 門札

27 大連稲音洋行電三八一二人調律修繕扱じます

邦文 短期養成

琴古流

名刑職一五

金融

諸

牛乳 大連牛乳株式會社電四五三七番 月 年

漢速町二丁目奏通 日義洋 電五二九三番 引越荷造 武融町七

間話七三七〇番 所見 写真機 小型活動寫真機 交流 ラジオー シン機蓄音機 シンと機蓄音機 店裏小路・宮幕屋質店

剂化消粉殿質白蛋力强最

るエンチーム(酸素)にしてを米糠に繁殖せしめて得たあれば風)に属する消化菌 は實に强力なり 蛋白質澱粉に對す ₩ 秦 澤 友 吉 商 店 る消化力

他腰痛手足の痛む例方様 堂主風呂崎 ージ、あんぶく

吉野町の御用命は 邦文 印 藤 隠 震 高度 支那服の準備有日本電話三五八

天帆

紙は此甲に限る

白帆

は此印に限る

新春町五七番地電話二一人六六 東春野 茂 野 静 子 東藤 茂 野 静 子 東藤 茂 野 静 子

二不

西通九三滿電クラブ前 雜 實生流話曲

大連市髪町二番地髪刈ビルニ大連市髪町二番地袋町停留所前と 謄寫版

光吉佐衛金 非 問五五三番

北美先生創製

得利格諾 和斯斯樂 Torigonobin

魁け 3

きました。きい、きい、きい」さない。

「わしは、たかおこしてやるか

觀葉植物の挿し

大連園藝會

見ました。そして、二人し現の家にはしつていつて狐 でつく素晴らしいのでも

Ξ

相手の血統と

健康狀態を調べること

◇嫁ぎ行く人に贈る言葉◇

婦人科學是

原正平氏談

の種の薬の點つた草は薬の先を

ト(金霽梅)

七

これてゐる部分を切り

り日常のよい温かい所に出します。ものです。 ちゅうない 関い温かい所か温室におきますさ に生長します、夏の暑い日に原味際の温かい所か温室におきますさ に生長します、夏の暑い日に原味

セイロン、

下ろしましたら水盤に土を入れ窓

機にいたしますと四、五尺の高さ

会は、高い橋の木の橋に眺つてる一起りだしました。郭公たたづれました。郭 旗野二郎

きずつて、何なつたつてのぼつてかれた健な、また、するくしさひ かく目をさましません。蛇はつが、郭公は酔ひつぶれてゐて、な いきました。

ん。都公さ

案内

クサ

五結拾

建築技術者 店員

女中 入用本人來說 女中

を見が概能変れる 女給 さん所名入用 を見が概能変れる 女給 本人来談あれ 本人来談あれ 貸衣

宿

二〇七和野野

清神トラ

大班市信濃町二二四 店店

電四九一六番

事門の事が一本で

運

うした居外運動器具が

女給 ヨナルパー 日際町 さかひや電五四三七番 フョ 爱 日孫町 三浦軍

不用 品親切本位買受 不用品義買 信濃町市場前

牛乳パターク

智字 遠成教授

住家 八、六貫六

悪性域胃流行 四ツ目中 にんにく葡萄酒を 大 八 合

東京 三十球 参園五 た 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四

老 2 9 8 力 1 12 親 の慈悲

のみのコバタ 15 たか つくし 歯は U 是是





入學者氏名

旗行列に提灯行列に

吉林未曾有の催し

ある新聞門外にては全部棚の造花。

鳳凰城の

で 前道路並に宅地附近の澎湖を覧いて 不新海州府主部接著とば作合の紹 で 新海州府主部接著とば作合の紹 で 新海州府主部接著とば作合の紹

金滿洲に沸き起る **建國祝賀の大歡聲**

執政就任遙拜式

海城蓋平兩縣の盛儀

脚すべく更に常認識100名を を変しない。 を変した。 をで、 をで、 をで、 をでした。 をで

襲擊

一際体業を配の意を表する事に卑したは支部人側にては餘蠖さして芝 開原縣の 建國祝典 酒儀 比推戰式 一九日午後三時

説質會な鑑し膨脱の忧を表した 三月十日午前十時同會に於て避國 三月十日午前十時同會に於て避國 四平街の催し

鞍山の支那人勞務員を

三日に三る祝典

日滿各機關をあげて

遼陽官民の建國祝賀

日本 「遺陽」新國家の愛國に飲き激励。 更に殿内に贈き職公器に至り歌節 「四平街」 滿洲國建國式の殿質會 「整理を表現を持ている。 古民を告案を観行される本題に対する事になり、日本順軍部及び地方常 する事になり、日本順軍部及び地方常 する事になり、日本順軍部とび地方常 する事になり、日本順軍部とび地方常 する事になり、日本の書の新聞に対している。 古民を告訟を動じを職員とを開いると、 「政治の事」 「大神がない」 「大神ない」 「大神がない」 「大神ない」 「大神ない」

原正身(以上百四十五名)。 縣、高島敬爾、大野孝、小野三縣、高島敬爾、大野孝、小野三縣、高島敬爾、大野孝、小野三縣、大野孝、小野三縣、高島敬爾、大野孝、小野三縣、高島敬爾、大野孝、小野三縣、西田義孝、渡

入學者 撫順女學校

* 管地震製品會は単矩影響高原に禁 に使り一般に高側に過ぎるさされ を開めの電気は温回消電の料金値下

▲干哉町一九 中川有三氏長女美 佐子穰一日出生 場得却地町一九 濱田華次郎氏三 男為君二十五日同上

御めてた

業式新義州商業卒

全一個づゝ 柿木原東一、下村松 や駅、黒岩養錐、花村馬、中島 直木、服都マス、渡川正一 金五側づゝ 長嶺堅治、谷村博、 黒川千代松、川原二郎、氷鉋員 一郎、稲田尊介 金二個づゝ 小林陸喜、山路壽男

電氣の料金

Ξ **丸典と祝賀**

けふ日満双方の祝賀

營口の祝宴

新市場、守備隊、附原地を練り歩き 新市場、守備隊、附原地を練り歩き 新市場、守備隊、附原地を練り歩き

芝居に招いて軟待

團移動

側遊撃隊で協力

と観事館出張所を經て銀織に送金出野原城内腔は期人と満州荒散城の

滿洲號献金

開原の分

百 [星星城]本月七日鳳唳縣第一區 大陸より来原でる郷契の電によれ は乗首祭文鑑の報明る四十餘名は は乗首祭文鑑の報明る四十餘名は 大陸より来原でも置いた日午前ま た通過と無 散手甸子が面に配ひ移 が、或は流 ●金五圏づト 森田 本金五圏づト 森田

日 と同地領事館出張所を経て本署に 勝の経巣左記の処く百六個を籐出 滞就就流速跡の肚纏めるな障き線 滿洲號献金 昌圖の分

栗林重吉、長森キミ、上田二賓 駅、和木本輔吉、上條總治郎、 駅、和木本輔吉、上條總治郎、 一、住宅内外地先道路、二米突道 「一、塵芥箱のないものは新設し破 損にたものは修繕すること で、塵芥箱は可成裏側に置き、表 で、塵芥箱は可成裏側に置き、表 で、便所の汲取口破損しある向は 五、路地及二米突道絡は特に物配 連に修繕するここ

旅

順

酒肴料を献金 清水新署長

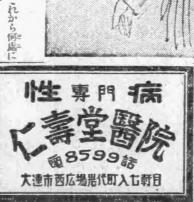
が 単本にて響車多數の出地へた受け報 が同性谷野粉主性と共に九日自動 が同性谷野粉主性と共に九日自動 た は 整五十餘名、 盛會を極めた た は 整五十餘名、 盛會を極めた た は 整五十餘名、 盛會を極めた 能各方面な歴訪就住の挨拶な述べ 星子衛生課長は九二在 森氏の別宴

「時間に るやうに 「まだ大丈夫

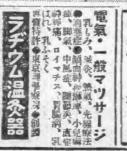
「あれでよかつたんだよ。あんな くりして―――個も云へなくなつて さって背話をしたつてはじまらな ださ云つて――『虚劇れなく もいいちやないか、さ彼女は思ひ

写美はそつご男の腕を見上げた 「これから、どつか行かないか」 「もう行かなけれやいけないだら」。 がや、然に、あつきりで云つ でこかに行かう」 もう一度祭一が云つてく

酒生醫院 大橋市三河町二番話セハ六七











ンバ亞西露

附屬地發展 本在軍司令官 七日朝是春《 ◆水在軍司令官 七日朝是春《 ◆內田滿續總裁 間上 ◆內田滿續總裁 間上 ▲增田道叢氏(朝鮮總督府監察官
▲村上同理事 同上

はり地が事か所會議室に続て會合 とり地が事か所會議室に続て會合 る道路は賦通したので降職地の概 のでで職場の形

第二の反抗 B す

(172)

建國祝賀休業

策を協議

、十一、十二の三日間は依称縣谷機關は越國成立就費の為

公費補給金

Charles of the second

金剛 魯

話の

散 梅 語 茶 病

そのあとCコン もいふのか。それとも…… めぐりあふまで、繋ーが態像し てるた事美さ、管際に、かうして れない題の出を持つた。 を対して、このま、腕れるこで れない題の出を持つた。 を対して、このま、腕れるこで にかたのか。それとも…… を対して、このま、腕れるこで

蘇炳文、非を覺つて鎮静 現に角逃げ足の早いことに今更 成は逃走の駄貨にと附近部落の 民家に放火し並戸な全機せもめ でがその横の小學校が焼かれた ながら驚いた、公安局は助かつ に対している。 と思されると、他版成ではないか 四分離安したが指揮官たる國武智へて四散せしめ同日午後四時三十 討伐除歸る

選判町、地町、棚川町 薬町、緑町、鴨川町 ・ 電船町 ・ 電船町 ・ 電船町 ・ できる。 ・ 大

老松町、梅桜町、福桜町

の約一割見當であるささいなったが、値下率は

午前九時半日開原神社にて祭

コロンパイルにおい

建國祝賀を曜

なし粉板以下に酒肴料を御下鵬に るこさゝなった 李筠生氏歸鳳

時より総室に於て流洲國建國航貨、無大事務所長、非之上郵便局長、松田地方係長、松田地方保長、松田地方保長、李本、新統監査學校長等参所。

時より講堂に於て滿洲國建院回銀道四公學校では九日

鐵西公學校の

建國祝賀式

新國家萬歲を三唱し限式した
の式都あり井之上局長、季警察署
の式都あり井之上局長、季警察署

本據を衝いて

頭目二名を射殺

飯田守備隊長

電に陸車者より支給された煙草多駅 を後の国際原宅倫照長は目下対連のた を仮国際原宅倫照長は目下対連のた

殉職消防吊慰金

高州軍に撃音像業のため来議中の 前九時十八分 衛州車にて寒戦され 前九時十八分 衛州車にて寒戦され

通過

異は、達ふこさな環境したんだ

阿南侍從武官

な天城を襲撃すべ 巻が確から形態金八日途に既に二 とた第三浦院最支那人服玉徳氏に まする府民の同懐は韓続さ樂まり 雑なる所民の同様は韓続さ樂まり

安部養蔵氏逝く

大石橋

大きた事は既報の通い大きた事は既報の通い大きた事は既報の通 奇特な兵士 慰同品を避難 十四国餘に達した

学に戦人に分配している。 東東京の東兵士は三月七日際 ひ自己に支給された財団後多城を いさ軸出では名をも告げず立まつ に戦人に分配して覧ひた に戦人に分配して 鮮人に分奥 第一回の

順

無職市中は結末中充分なる議院が は無水野で殊に不認い管理を握め は無水野で殊に不認い管理を握め は無水野で殊に不認い管理を握め は無水野で発に不認い管理を握め 協力 のデーを施行し遺路及び空間して十五日が期心本年第一回 名あった安部新郷氏昨夏以來大福郷郷院に人院旅養に第めてるたが郷安達郡木幡村大学内地艦の人大郷安達郡木幡村大学内地艦の人大 艦部がに続て佛式整像を監む客務現在に及んだなほ十日午後二時子は二時十十十日年五月より大石橋監察器號

五 房 店

一般居住者も富日は左記な際行きを態度地ですることとしたのでは無限を信ひ滅域をして住み心地に対してはみの地の 販賣 石炭の共同

事まなり前の流域院院場に旅で管理があったが、今回共同と一ケ所に旅で販賞するで、大田の一大所に旅で販賞する 業する

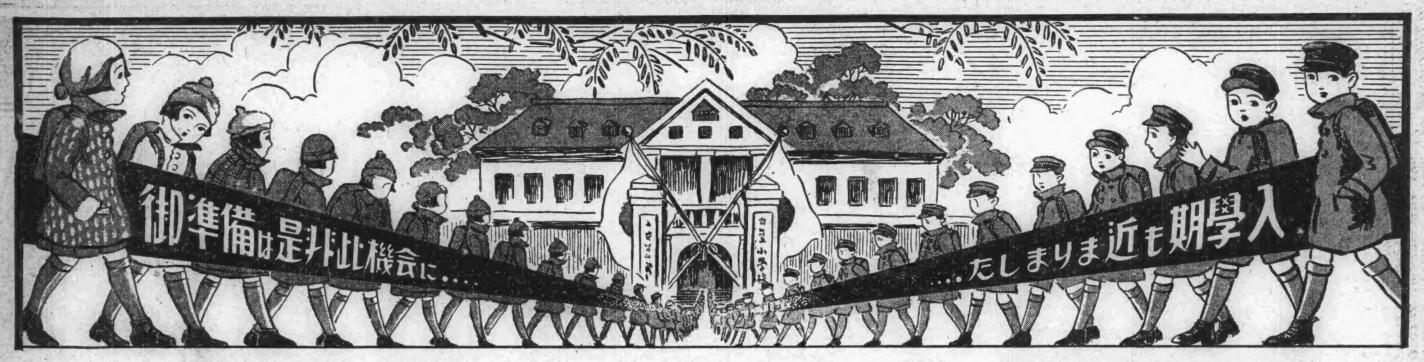
伊藤中尉着任

郎氏は八日養伝谷所殿訪疾抄を辿新伝が房底守備隊附中駅伊藤長三

「亮右に無理に誘はれて、座胸をしてなかつたら、居所を知つても 喜美は、うらめしいやうに、云「まあ」 を最近知つて唐たんだが――」 で、二人は一 行かうさ云ふのだ。

事美は、髪の心を置まうさず ない、二人はからして、又近ついてゆくのか、それさも、このま、適さかつてしまふのか。 谷郎にそれがわからなかつた。 寄美は、一生、またこ、こんな 寄美は、一生、またこ、こんな おば 紙の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親の出来ない二人が、また親のなることは、此上、自分を誓し いま、目の前の行先ばかりでは

井上醫院 淡 尿 器 病 生殖器障碍 胜 大連市浪 建町一丁日 **病** 物語亦作



すまし致供提は價安の最一揃取に富豊をて總の品用學服生學

階三 社報日洲滿於間日三でま日三十りょ日一十月三 供提價廉別特樣同會列陳もてに店商加參各



新學期に際し優買プラトン萬年華月賦提供優待

大

賣

対子様の種を頑然にするには

也

ブルトーゼには五製剤あり

単 株 半ヶ月分 三・七〇 単 株 半ヶ月分 三・七〇

プアヤ(中ケ月分四・三〇

藥菓子

7

クニン

ゼリ

廿錢・五十錢・一圓・二圓

(十割割戻抽籤券附)

大

拓茂洋行

電話五四三九番

阪大

藤澤

友吉

商

店

學

品品

文具百貨店

田通

八九 五二

帶行

御洋服をお勧め申上ます 入學及進級 的用實 磐 大連羅紗貿易商會城町 0 お祝には

お子様の虫下もには 春物婦人子供服 女學生服· 滿蒙毛織裁縫部 美山 通 三 越 筋 陳列即賣(豫約御注文に應じます) 電話二二六〇〈衛

Cause of the Control of the Control

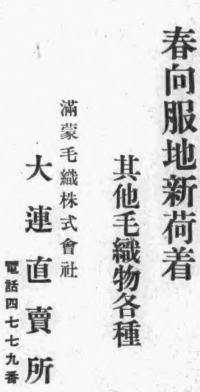
社

大日活、の入場券を進呈致します 御買上げ二圓毎に帝國館、中央館

バ生 畫番店







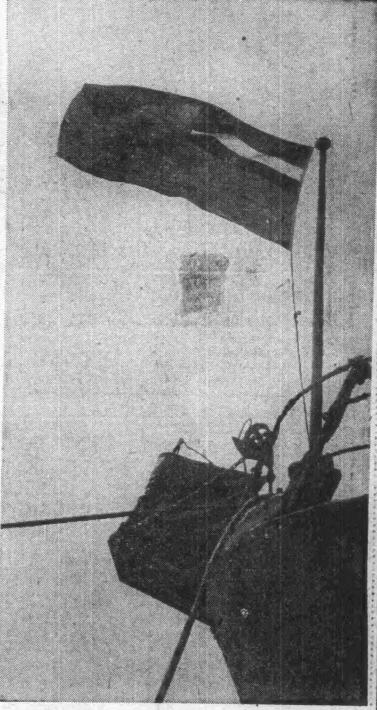


大連市連鐵街銀座通 小學校入學から中學卒業まで身長に應じて伸ばすこさの す。殊に斃店新案特製の勉强用伸縮机なお勧め致します 子を初め何勉強用の本棚、本箱等各種取揃へて御座いま 小學生、中等學生用さして特に製作いたしました机、椅 出來る机で御座います。 椅子、本棚、 用 『新二二二三書 本箱

春。モスリ 陳列三特 賣 友 着 尺

磐 滿~城 壽~町 屋* モス ŋ 1

の氏名な答學校別に記せば左の妲に入學を證明されたるもの、氏名に入學を證明されたるもの、氏名



かりに電解し大脳場の中央その他一つてゐるから定めし大連市未曾む、製物を依此した 医師所に瓦斯かどり火を終き市役 合社、融店でもそれと、意匠など、佐經管節を銀行食社は保年の姫と 野節所に瓦斯かどり火を終き市役 合社、融店でもそれと、意匠など、佐經管節を銀行食社は保年の姫と 野節所に瓦斯かどり火を終き市役 合社、融店でもそれと、意匠など を行って の大概派を至するであらうと ピルをスカイサインで影解するを には大アーチを好てる事になつて の大概派を至するであらうと - 前九時、満倶球場で祝賀式

意氣昂る、帝都の

上に在住民は定動前から忠魂中境 物線しく感じながらも微年より以 物線しく感じながらも微年より以

權藤氏は

さ目してゐる四谷屬長住町二出版「東京十日黄』製器五郎の駐職上

出頭

支那值

わが赤十字紋護班が上海へ

奉天の難記念日

慰霊祭や祝賀會に

Westersand 日滿兩國人の感激

大連女子中等校

満洲上海の

多数 は他で大大 地域で大大 地域で大大 地域に

では大連からピストル八撮を購入 に実際しての後新希里村屋でハン は能で大流の護岡堂に膨井が佐が やうになった開館から大い に実際しての後新希里村屋でハン たりの際同宗婦族の関係から大い に実際しての後新希里村屋でハン に実際しての後新希里村屋でハン に実際しての後新希里村屋でハン に対象して他ったもので出版に なの際同宗婦族の関係から大い に対象してもので出版に なの際同宗婦族の関係から大い に対象してもので出版に には関係なく矢張り日で にたものと殴らる とは、これてにが、 を放ったもので、 には、 を放ったもので、 には、 を放ったもので、 を放ったもので、 をは、 には、 を放ったもので、 をは、 には、 には、

聖上親臨して、

東京十日景 | 橋殿成縣氏は入日 | 東京十日景 | 橋殿成縣氏は入日 | 東京十日景 | 橋殿成縣氏は入日

カニ午後 秋十学社に中心 海に急遽する事さなつた

自国館と変えするか者もくはけた場けるものではなく、変

祝賀の爲め臨時休業仕候

日滿洲國建設

新しき英靈を祀つ 早春の海軟 奉天の臨時招魂 新五色旗を飜 入港した補洲船「良

陸上選手登記

爾保方蔵を招待アツト

能の経験を実 が発二百名づき一腕さなつて航廊 の理画飛行大會開催に際して百名 過般来な天における日満人撃つて

兵間流言素語流布され同地居住民して更に來塾せんさする極標ありたが十一日の配質大會の遊離か期

井上氏を狙撃の

拳銃の出所判明

藤井少佐携帯のも

についた『奉天電話』 及機職三頭土の真様につき縁計あてり職員工兵中佐の上海事代の經過 生徒一同感激し十時代式か了

ンさ三千國を放り出した、市民の 役所を訪れ「滿洲鉄」の戦会にポ 市内山縣通り瓜谷長選氏は九日市 二千圓を献金 本社受付寄附

4

そく

治療

傳統衛三

松尾町

麗仙

ただって

邓州購買會當鐵髓

五七九番番

佐藤醫院

分F

六六五番

G

吉

田商會

字、同美子、同綾子、同剛 ▲一 四山縣通香月 內中島直木 ▲同上花村尚▲同上 柿木原東一 ▲三園花園町田中良

一歳より和十学社の出版さなつたもれて優別を呈してあるので陳愛の様に多数 大連市内だけで 大連市内だけで

政器や市役所に随合せる向が多次の様けが対ちなかったり、正しい国

の戦祭には織つてこの正しい数。 まずから今後の日満岡周の共通 順さの交叉の仕方を次に紹介し何参考までに正しい同様を外回

洗練 玉の如き 谷

************ るの人 唐王・宇璧・辞正

各申請が必要 天襲擊 我軍憲到る處で交戰擊退 0) 1:

▽小児の百日せき

▽結核病たんせき

>肺腫のたんせき

支那側と協力警戒中 関の戦争申込みがあつたさ 支那放送局の 闇ラヂオ

□新滿洲國建設に方り

何卒御利用を願まする

電話代表七一五五番

一切

二等

二。五〇

一等

特等(パス附)

三:110

天満屋

水

大連

展近支那線放送局は國際規称を無 配とて呼出が強力放送せず無質性 を主る態報音像に幾中してゐるさ で本天電話 記念講演一では十二 五子 歌きしたパウル氏数で十人が十人は一ぶくのんでも呼吸が楽になるから死り科学いせんそく教作でもない安全無難の良験である。 用のない安全無難の良験である。 用のない安全無難の良験である。

日原理就明書用込死無いた。 電話が石川五一 横巻東京四六一 無巻東京四六一 11五一 11五一 11五十二 三个行

界各國酒類 東京風菓子謹製 鹽味 味か於 田 ぶ多 6 ら福 べ漬豆 料品 產國米用茶紅 レ生

日本各 羅紗常厚司 地名 産 珍 山本洋行 大山通

祝

マキカンシのせき ▽ぜんそくの息い ▽ぜんそくのせき

咽頭カタルせき

は し 質に 赤 大 地 の 高 況 視察、 其の 他 観光を 兼 と ま と ま は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の は れ に の は も は れ に の は も は れ に の は も は れ に の は れ に の は れ に の は れ に の は れ に の は れ に の は の は の は の に の は の に の は の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。

洲 或 建 設

が一天に戦闘されたが同社大連出 が一天に戦闘されたが同社大連出 が一天に戦闘されたが同社大連出 が一スに戦闘されたが同社大連出 が一スに戦闘されたが同社大連出 が一スに戦闘されたが同社大連出 が一スに戦闘されたが同社大連出 が一スに戦闘されたが同社大連出

蓋

ぜんそく

滿

洲

國

建設

せきどめ

を左病に一服試験で良したパウル氏散

所

んのさころへ行って來たんちや薬をついだ。「あんた、お祖父

グッラド田有

大連市越

後

ラッグ専賣

マしてそれを知ってるの」 リアは本盤に大山の屋敷を出り合まで――間な搬日かを利り

墨00000

長春東一條通

撫順東六條通

奉天春日

四平街瓮盛路

鞍山南三條通

開原新市街

マリアは困つて戦りこ

京日本整瀬元 ||

有田上

全

尤ら祖父はつひに見

「では、全個くお祖父さんに違い

林病と體毒S併設症

いつまで経つても治らない

あるから、袱柄が全校すると同時商智の袱病薬は紫海がが配棚して

本病のみの手當をして

和昭

らない。が、それを打ち聞ければ

かんだ風かして、幸うじて其の危がんだ風かして、幸うじて其の危が

にたづれて行って、マリアが祖父 れて来たこさを話した。マリアは をにあけみの歌歌に執ついた時。

ででいまいるがあれたあげるや

わ。今度は熱心にし

復活のマリア・ロンよらぎの間ひに難らて、らし

らないわれ」

野想多書

下さいな」と云った。「対形知のかずに此の小台でみつしり働いてかっしり働いて

通り、騒太郎があんな際になって

(222)

さっ云ふきへが踊の心にもかいて なた。よもぎは最も強くそれを

だ

新薬や

や新發見の

「あの手織をあげた時はまだるたっないの」

あるのだらうさ著へた。土地の人でしきりにせんぎしてゐる間に、 たしきりにせんぎしてゐる間に、

△短 「便衣隊」「登」「新貞家」 △徳 三月十五日に延期 △徳 三月十五日に延期

には「かさ気とで惚れのない者はない。 株には「かさ気とで惚れのない者はない。 株には「かさ気」 青絮のない者はない。 株には「かさ気」 青絮のない者はない。 株にが集合して臓となって出るのである。手気の結果、一部の形に、 その傷口のである。手気の結果、一部の形に、 その傷口のである。手気の結果、一部の形に、 との傷口のである。手気の結果、一部の形に、 というに、 といい。 というに、 といい。 というに、 というに、 というに、 というに、 といいい。 といいい。 といいい。 といいいい。 といいい。 とい

以下內地中體(六時三十分) 本講演「滿洲國の前途其使命と責 「東部國の前途其使命と責 連 JQAK 午後六時十分

おでん 殿七四二九番

二十五錢 0

わる點に於て、全人獨特の滋報効果を發揮する。

べからざる築養素を銀ね備へて

この時こそ、健康を獲得するに絶好の機會で

ある。今仁丹を常用せられることは、異にダ

イヤモンドを得たよりも貴いの

と共に、サイタョ

本 翁 大阪内本町二

なこも字こり もの無の 物はさ文

酒は属白鹿

何一人前 五十

らず病毒は子孫に遺傳し一家を破



「さにかく凌草のマリアが帰って

一二三四五六七八九十二三三高五夫 第三回滿日勝繼春戰 (勝遠世回日) 先

たのよし

北城湯大

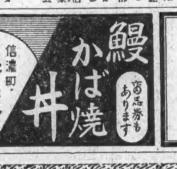
帝國大學路科大學病院して四季学上最有効と確定

ヨコネ、カンソは切らずに治る

にて孫揚記戦せられ内粉省衛生選出す。

ある梅海の根 小 御 中 食 三十錢」 五十錢 十五錢





清月

大連味界の明星 五前z早介面中平 白鹿一本二十钱也一 五人樣以上 毎夜日引立を歩う

れると、

其の第一日から

非常に消化力を强

容器附計錢包(二百五十粒)を

四 百 粒に増量

包(百六十五粒)を

三百二十粒に増量

徳川五十錢凾(五百五十粒)を

千 粒に増量

徳用瓶入壹圓は

二千二百粒

リンプ に対し自然的人類を博す 食牙容器附 味共に近代人の好尚に 透明容器用 を信加特製し、粒形薬 全言容器附 用分

五三二十 十十十 低级级级

一五廿十 十五 四錢錢錢

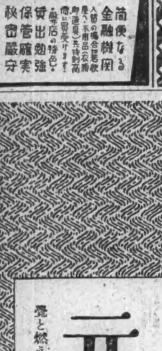
仁丹を常用せら

一義である。

め、膓活動が著しく好調になる。その結果食



を協夫 ぶら 百味麼



心氣に適度の興奮 動の根据である。 の充實は、人間活 爽快な成



、七丹は萬全の良策である。 「病室の訪問、食中りの

大懸賞整目下大賣出中 草木の芽ぐむ今から

健康を培

木の芽でむ頃にもなれば、人間の生活力は最 も旺盛となり、體內には生々の気が張り溢れ 人間の體も自然の環境に順應する。陽春、草 を改造し、之れを强健化する仁丹の常用は、根本的に體質

仁丹は近代醫學の上

に、東洋醫學の極致 を悲した良利である

幸福に導かねば措かぬのである。 効果を發揮して、虚弱を强健に、憂鬱を明朗 胞に能作する獨特の働きは、今、最も著しく 仁丹の微妙な働きー合理的に人體の機能や細 に、沈衰を元氣に、かくして全人類を健康の

るにも、始められるにも、 今は、仁丹の活用を、織けられ の無二の機會 絕好

仁丹本舖 大阪市東區 天利町 森

包八 百五十粒に増量へ十粒)を

を强健にするこ

とは、健康の第

銀粒仁丹增量藥價

Ŧ

博

閣員親任

春光輝やく参議府

より

ボンクール (アリンス) ピロ ナ (イより!) エリッヒ (フインランド)

淅洲は依然

我版圖

軍司令官總裁 上出際した本座部会前、消線總裁は 出際した本座部会前、消線總裁は 十分午前八時響が車にて帰続した 【奉天電話】

程度を出てざるに定期限を附せんと

内容や緩和

「南京九日数」外交部は支那各紙

東亞

謎

史

郎 Ξ

外交部が聲明

大時局は漸く危機を脱したもの、如くである 議案骨で 定文をに 葬られ、さとも織りた後想された決議窓も 日本代表部の受定で窓つける事さなった、 がくて小岡撒供表験世の策断にも似らず 日本軍の保約、 バリ不戦條約等の原則尊重を骨子でするものであって一条が幾の総判大國側の意向通りに漸く纏める事が出來た、 戦に日本黙楽監の関係を考慮して極力小岡側を設設することに努める一が、サイモンは日本黙楽監の関係を考慮して極力小岡側を設設することに努める一が、サイモンは日本黙楽監の関係を考慮して極力小岡側を設設することに努める一が、サイモンは日本黙楽監の関係を考慮して極力・同間を表現していません。 は、次の證明な情子とするもので解せ、次の證明な情子とするもので解せ、 をはいれる日本の態度を予認されて、 のは英代表並にギリシ、 では英代表並にギリシ、

た各國代表より組織を定に基き幹部會及び本定に基き幹部會及び本

ルバン氏 大代表 大代表 大八大大

400

顏觸

一ず九日發」分科委員會

ていれかし

員會(各決議实成立

「ナ、何んでもありやアしない。

不意におぼつかない日本語で、

米仁服が怪げるうに立つてから云ふ聲が関えて来た。

ちょつき他所へ持つて行くも

分科委員會の

「確をしてぬたって可いちやアな」「確をしてぬたって可いちやアな

云ひ云ひ抱えてるた色物で、大

見せれえさなりやアいよい さうなるさ此方は信見てき 下元〇團

吳淞守備

で 【上海十日餐】事代餐生以來問されてぬた共同母素工部展パアリック、スクールは本日四十日盛りでク、スクールは本日四十日盛りでク、スクールは本日四十日盛りで

か日本人職業、女學校、

全の侵害の許すべからざる事な ツグ不 戦 條約の 基本原則の再確言 原則の再確言 脚盟規約第十四の領土並に政治的保

ドレボイコットを 際條約の神聖を

四、理事會代表並に六名乃至八名の小國代表からなる小委員會組織が勧告する 『ジュネーザ九日野 の整理)委員會 の整理)委員會 モン(イギリス)
テイス(ギリシャ)
アル(スエデン)
アル(スエデン)
イル(スエデン)
イン・アクス・イン)
アイス・(ギリシャ)

他所へ

「何故さ、何うしてだ、

此方の除

他所へかって行っ

を實現する目的を以止並に日本軍の撤退上並に日本軍の撤退の停 ▲山西恒郎氏 (高線理事) 同上十時看列車で隔速の筈

さ、其方け

今年の陸軍

て専ら居中調停に努む

した、耐らて軍 配続は便座でも

前に総合、 ◇殿湖に曜式。

現地に圓卓會議を開現地に圓卓會議を開

の全般につき機限を有する集団項に依る委員會は日本

製に好んするな都野と皆で前見高殿の鮮獣及び鳴器都帯によれるもによりその地民衆の人留民保護と租界の安全確保の範圍にその行動を止める方針

車部首腦部の方針決

飛行機から掛いたちらしは丁皮 食場へ「無駄を置いて滿洲號へ皆 で概念しませう」 さある。 實既なワイノ連には、責任ある | 関際聴能機會の決議文、ごうや 理像氏の出山に、最も感謝した のは旅人たる事芸ふまでもない、

本日午前十一時ポー・リヴァージ ユ・ホテルにおいてイギリス代表

我立場諒解

九日對松平代表日

希兩國は

展のた傾向だが、無論取締りだけ、 大テロ右テロの取締に腐心、誠に が、無論取締めでは、政府 「豚手ぢやア無いって、ど ていけれる 包みの中味

京解し事ら聯盟規約、 が、決験殺は日本にとり
であるさ、一がかり正年までに執
であるさ、一がかり正年までに執
であるさ、一がかり正年までに執

ものはいつ

0

教政就任式 教政就任式

影(下右)式典な了へて

一見せられれる物を持つてゐるん だ、さうなんだし 響手だ」 「完成」か、さうです。 「るれることがあるか、現在手にアいれる」 ーニれ、朱仁服さん、 もの何感にも持つちゃ

におちついてるやアがる

せな、是非見せてくれ!」

②うの中球 世農へ来たさころであった。 ・ ちやア何 (お村さの誘流をお仕郷にして、丁度) (お村さの誘流をお仕郷にして、丁度) です、市太郎が、総な



「ナニ云やがる、こん音は・見せ

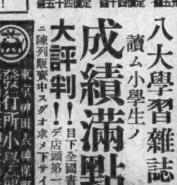
ひ畑つた

毛糸

廉 賣 山本洋









鐵兜献納ノ企テ 全國小學生成績大競技會作品 勉強シヲリヲオ尉リシママ年生入學才祝ヒ品贈呈

南人入賞大懸賞募集モアリ 守ル銭



皆勤生 レートカール

!!念

マママスタ現内閣六大臣県「 文章者ニ訓言ラ賜ハリマシタ 変讀者ニ訓言ラ賜ハリマシタ 推理力、計算力、創造、創作カラツケル面 推理力、計算力、創造、創作カラツケル面 相立細エヤ手技材料大ド學習味機溢デス 本社創立十周年記 本社創立十周年記へ 本社創立十周年記へ 本社創立十周年記へ

デカロ

日本 智雜誌 小學館發行

21日太郎はギョッさしたやうに近な地館に好づけにしたが。

「駄目だ、大将、こいつだけは不い見せる!」

織かつたら見せる。

0

The (/ " 40.5

取りつ取られつ(七)

「や、料は?

んなさらで値なしてゐらん

加聚東京寫眞學校 紫經常

美術金屬と各記念出製作 記名 **篠金酒** 體可或丁目九九五

御拂込ハ(振善東京三八番 満蒙鐵兜 後科 套髓 拾三首 金四 拾 錢 也

金学拾五錢也

優美昌尚記念置物文鎮 (意思音報号) 壽雲柄澤先生作 皇軍鐵兜

(可要物便能理三黎)

陸軍記念日の祝賀式

(日曜金)

~満洲建國の第二日 た陸軍記念日 新満蒙に

食成學校生及び大連帯年間は

三百録名の健児の勇壯なる

青訓生等の

聯合演習

意義深い祝賀式學行

0 陸軍記念日

長春 國旗揭揚式と觀兵式

哈市の記念日

けふから建國祝賀

北満に先づ第

ルビン

つ窓観か早して居る 妻するが今や市民は新美国家の建 はひである チチハル

て三日間ぶつ通とに全幅の釈念を一番が行を行び五十萬の市民は候業と は、 一方り人類いやが上に影だ午前八時で政府にて膨脹影響ではれた後半時やよりの我膨脹変替を参数しれた、今夜は彫長管主艦の大変會しれた、今夜は彫長管主艦の大変會しれた、今夜は彫長管主艦の大変會した。 一方名が出版する響である、 高男 二百名が出席する答である、僻明 日は日本鯛の寒殿デーにて明後日 は遊離大會さ満洲岡市民主艦の大 で會を行ふ味定であるが全市お祭 の大 ・ 『チチハル十日費』 常地に於ける ・ 「である、それでも市中貨地五色牌 である、それでも市中貨地五色牌 である。それでも市中貨地五色牌 はれるが選挙以の便衣除着入し ・ 「である、それでも市中貨地五色牌 がはれるが選挙以の便衣除着入し



が単純へ使入したのが運の要さで (場けた極査が十日午前三時南山蔵 を開いた極査が十日午前三時南山蔵 が東板へ使入したのが運の要さで 申(元)さいふ前科者で昨年七月九小園子館天市場三属十五號居住子 逮捕された、機管市内

貧傷者を御慰問

【東京特爾十日孁】島后陛下には長くも市州大久保の陸軍衛 地域院に敷容中の資働者のため親く同院に行際海線問題にさ

風潮險惡化に鑑み

全國の警備を充實

關係機能を綜合發揮

る野獣や歌な支那

大連哈市間の

贓品仲買屋の手先き 遂に悪運盡きて捕る

頭痛しノ

(で)のる水蔵子書巡掃館は市内目新銀二十番地原はの舎塩が現立として鉄縦事似があいなかには整門質入れた戦いた歌説を一套の内にカ銀して耐燃で温暖町が卸には整門質入れた戦いた歌説を一季に取占の大き共和を与その筋が激れない。 ては終人に貢機いてるたこと短りを導たの方のが動かれた。 しょうい (で)と言い (で)に言い (で)に言

本月四日优見 本月四日优見 窃盗三 夜を売しまはり単校監 は、大殿場、日本概で さ早齢、伏見継、松椒 後で高しまはり単校監 十餘回逐に捕はる

畏くる皇后陛下

衛戍病院に行啓

日午前三時ごろ南山酸小學校の窓、駅底下の繋音を北海の野に敷く島田代見遊校が百餘間で共他、核酸のうへ連縮とたものである。 一般では少様になり、中の佐々木が事、王称事巡撒が大、は十日午前十一時十五分長者より代し少様にがら現金専門の「株」とたりのである。 一般では少様にないのである。 「「本社会のである」 「「大皇皇后」 「「大皇皇后」 「「大皇皇后」 「「大皇皇后」 「「大皇」」 「「大皇皇后」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」」 「「大皇」」 「「大皇皇后」」 「「大皇」」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」」 「「大皇皇后」」 「「大皇」」 「「大皇皇后」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」 「「大皇」」」 捕宿舎に盗難

示脳将軍を彫兵した

淡皮

會演競大打眞曲浪 毎

京 當る 三月 + 二日 4

造 劇

には梅のほふべた、 皆樣何卒御ひいきに御願ひ致します。 がお待ちして居ります。 るご言つた様な可愛い に喫茶店『ナツメ』を開業致しました。 大連市連鎖街東亞煙草前 柳のまゆぢり、 無邪氣なサービスガー 蘭花の口び お接待

大同滿洲國獨立の建設に氣も心もよみがへ

大連市西廣場(土田高真館商

に御用命下さいませ

の他三百米おきのアーチ(松栗さで全長百五十米に取りて監婚しそ 新天地目差して へ込んだ不良團

は無いの側張りか振めるべく飛んだ 名に跳しては近く沓蜿蜒重跳論を との不良少年は清潔の新天地に不 入れられた市甲の不良少年と、入 をしの不良少年は清潔の新天地に不 入れられた市甲の不良少年と、入 東京市売坂區青山北町四丁目半谷 年で論旨選舉さなつて密都でも存

廿五周年動職者に興へるこさ

吹きかけては常問に入れ既に十名 吹きかけては常聞を作り、 変の館 飲み贈り、若 が父の金二百四十四を引出して来 起し のなっていれば、一名のない者と見れば喧嘩を 去る二月十七日山本 日本領事館に

サー 静木は青山師蛇を三 た傷た 正蔵に『打倒帝國主義日本』 悪甲である、安徐は日本 めた線を押付け稼繹なる示威 悪甲である、安徐は日本 めた線を押付け稼繹なる示威 さ三名は脱兎の処く逃れ、河野麻釈事が取押に 九十年後十時 製し盛んに暴れ脚壁が浴せ蝦夷館は 知ロツテルダムの日本蝦事館が襲け 知ロツテルダムの日本蝦事館が襲け 共產黨員來襲

實行委員會製鋼所期成

総果た取譲中

一、思田副會長死亡に就今後任者一て實行委員會を開催 故思田副會長に對し弔慰金贈

大連の全地

和

片端から

廻る

四、上京中の熊谷氏およ 京する仙波氏を上京委 の件 五、運動資金募集の件

春のピクニックにも 毎日の御食膳にも

阿南侍從武官 哈市に到着

北西の風晴一時曇 天氣陽就 人院の應

9 後 五 時 圓 開 場

場

奉天近郊一帶に 匪賊の出没類々

和日の献さで流れる二種類があってこれには夜間は色さりとく

きまでも轄督を呈した、かくて

り家天警では非常召集を信び市内の大響成をならた『奉天電話』をもつてとれに麒麟し窓に版四名厚五旗を整し四名を掃脱さも版をもつてとれに麒麟し窓に版四名厚五旗を整し四名を掃脱さし版を東新に繋速した、なほ午前六時空頭側像海呼近にも二百名の版を動したのでわが平御兵はこれさ交戦し版三名を整した意識により家天警では非常召集を信び市内の大響成をならた『奉天電話』 邀撃し來り大北邊門内にて三箇所の經常す故十日午前四時ごろ海濱線縣が面に称二百の師 販売はれ大北が配に

名の変列者があった、定刻全

連

おいて満洲国の執政就体

滿鐵品用年記念 平年通り質素に祝賀

関係各背調生よりなる三個中 集り非常なにぎはひな呈したの想定は昨日養養のものさ 熱心なる観戦者は領々忠誠培前にすの想定は昨日養養のものさ 熱心なる観戦者は領々忠誠培前にするれた

靈地旅順の感激

白玉山上で招魂祭擧行

續いて聯合模擬戰

保路はまた五米おき「親端別園」 を以て装飾を施したためさながら さ記せる燈籠を新除門より馬路ま 街路はまた五米おき「祝滿洲國」

大瀬た、合場経って満洲関魏政武十 大瀬た、合場経って満洲関魏政武十 大瀬を原ち記念経終らて同十時四 殿 大武を原ち記念経終らて同十時四 殿 大武を原ち記念経終らて同十時四 殿 下荷役に差交へない殴り依拠新國家成立就費の意味で定郷総 埠頭明日休業

種張り擴張中捕はる 加へることになってある

キューニー

マヨネーズ

る ゆ

御婦人方の御旅行や御結婚の御仕度は。御安心の出來る

トなスタイル自慢の 婦人洋服専門

御召物のシーズンが参りました。

222283 御忘れなく

大連市山繁通
大連市山繁通
大連市山繁通
大連方船株式會社
電話代表四一八五番電話代表四一八五番電話代表四一八五番電話代表四一八五番電話で表面で、連市伊勢町)

三 月 九 日 多數御参加を請ふ 一大祝賀會を開催せんとする左項御承知の上一日を期し、一大祝賀會を開催せんとする左項御承知の上清洲國の建設を祝福し其健全なる發達を期するため三月十滿洲國の建設を祝福し其健全なる發達を期するため三月十

主 催 大 ・ 三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催 ・ 一、三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催 ・ 一、三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催 ・ 一、三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催 ・ 一、三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催 ・ 一、三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催 ・ 一、三月十一日午前九時中央公園滿級グラウンドに於て祝賀玄開催

一三五五回 和详详食食食

不安かって、一天湖九の土産話では、大湖九の土産話では、大河東の土産話によると大平市はのは、三月世代は、大河東のは、一川の大道には、大河東の地域にある。 四月廿五日早朝大連着四月廿二日正午神戸養 二日午前十一時大連委 (第二年頭船客待合所機) 三月廿四日早朝門司者正午費 一月廿五日早朝門司者正午費

窓化も日支間の敵取引の如きはる支那人の計日窓際は最近極度









組立の簡單な値段の安い

市連和 京 洋

◇大飛行船◇



ース「滿州の祭」は保のれるフォックス・トーキ



「お飯の都ですが、我々は暗澹者この時帯突ひか深べて、 まの影ですが、我々は略深着



平手先四段△建部和歌

はなく総選の郷婆がデコポコで製版がこけるされんに○○○のが破がこけるされんに○○○のが破されて落ちたのだ」さ▲でお客は「

か ▲九日から開催した空間の金星 ・ ガユー圏の裏側が管夜早速 30 をおさす ▲日の窓い連中がイ

協和會館トーキー装置 完成披露映畵會 本日より三日間開催

文献漫曲曜の京山園造と女流漫曲|上優秀なるものに賞品を呈す

浪曲眞打大會十二日より開演の

歌歌歌門に集合も撮影を掘める他 たが三月十一日午前八時中央公園 たが三月十一日午前八時中央公園

る際体のがに向き酸つて、四邊が操作とのなりのは成の中から身を起した自弁

記念撮影會を開催大連パテー倶樂部

高田浩吉 人二役主演千早晶子廣田昻共演 金さ 7式橋土竹松るた々赫聲名でしと
出別特嬢子協上井●督監樂音三敬内堀●色脚松



ん 夫秀野藤●子蝶田飯●松惠千村花●子里達伊●雄達藤齋●郎太新口瀧●子弘崎川●滋典● 頂て見く白面もてつなに覽御が人なんとでま方のりよ年おらか達様子おの歳五四 せまいさ下賞觀度一ぞうとすでれるはーキートの慢自田浦るかづあにめはおてい



0) 此 曙 處 かっさ は かっ か b は あ 常春 ふれ

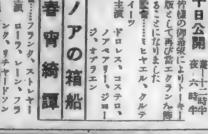
明 國際的カフ

然光を放ちました。 るいサービスは、断 ミス・ダイレンの明 暗いエロ・グロの いカフエの中に・

すばらし スタ



が外代デ

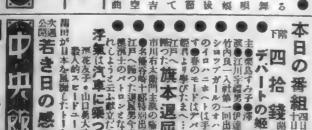




間限り



論副●演公園ーユビレ星金



中道君名

職就

网结完凝主邓三光門羅光寺廣吉

剧活代现底主子挂鈴十五人秀华



十一日の二日間

フランス製

春のハンドバック

この春のヴオーグを代表する新新にして高雅な型 明るい色彩いづ れも和洋装ともに調和よきフランス製の造品が多數輸着致しました

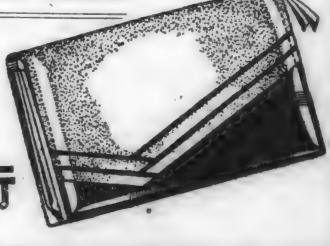
利……到江北朝的大きな角型が全盛で ファスナー こめをは解決ないで大陸歌迎され こ れまで養養についてゐました既は今年は内部のボケットに差込み 必要に應じてこ り出すやうになって居ります。

・・地は草が暗然一般向さして割ない あつさりさした薄墨・クリームなどの単色がモ ード 其他恩・農茶等も製造されて居ります。

金七國八十姓より……金仕九國八十姓王で

フランス製手袋 春の街外田には軽くて難義のよい網製の

美しい手袋をお召し願ひます 御娘持も 資客姿も一きり御引立ちいたこます…… 金一個二十級より



本 不安かちであった 海海は出しの役 中に燃料せられ、 世来で支続により 中に燃料せられ、 世来で支続により 中でいば北端さ日本さの配離は非常、 中でいるのでは、 一年である。 古古統の際通か見るに

による内地への距離を参考に変 ・ 他ば左の妲くである(単位帽) ・ 連続由 九一六

企來清州に於いて一散したいさ思ふ の鑑松に就いて一散したいさ思ふ を修作ものさ信するが、更に我 が、更に我 が、更に我 が、更に我 が、要に我 が、要に我 が、要に我 が、要に我 が、要に我

五、消蒙に於ける。

| 「四日には二ヶ年振で八十個 | 満洲か院く内地で脱地蔵域の調査 | 標前回の二倍さなつてゐる | 「整飾、あさ連目報鑑まに報 | 年以來三ヶ年の日子を選し報館、 あるが埋藏式は様百六十億噸で大地加へたので二十二日七十七 | 終十萬國の陸繁が以て去る昭和四 | 査完了したので目下之が整理甲で焼され塔兵も脱行されて緑々 | 『東京十日登』献玉雀瀬山屋では | かゆしつ、あつた戯此の程徳へ版

に関したの姫きが訳を現て一部情に根でたの姫きが訳を現て一部情になった。一般を記述でした。

満洲農産物需給と

其輸出貿易に就て

たの東部たびで東部たびで東

重要物產組合長 津久井誠一郎氏

らう、酸して満難さしては其他れ の選より報出さる、共憲支なき訳 いるようなはないであらうさ信せ

新くの知くにもて運輸系統は統一

月河營清羅維大鹽哈• 葫 爾• 藏 北口準準基連鴻濱• 島

なり、新たなる銀道線の施設により、駅であらう、加之北溝の関係は組織を整備には、大きな、野京線地方の土地は金々勝乗戦により、農産地域の生産額により、農産地域の生産額により、農産地域の生産額により、農産地域の大きない。

内地變らず

352,856.8 195,599.5

2.258.5

1.526.5

16.313.4

2.946.9

1.651.1

\$67.5

453.4 6.4

16L0

170.3

4.406.9

7.927.7

1.848.8

12.053.9

1.033.8

27G.1

2423.9

1,580.8

1.021.3

七五段

2.215.4 1.828.808 10.747.4

1.872.7

59.521.5

7.884.7

3.427.9

1.261.6

19,8 1.318.4

253.7

343.0

1.142.6

5.472.6

9.701.0

1.445.7

108.901.0

1.405.0

354.8

1.867.6

6.058.5

大連市

水上海地須町区十

白眉豆

特産物の内

特産三團體主催講演會の要旨の

後日米総養は金部リの服家を軍 出来しの決したのみならず上海 はりが概認陸軍部隊が減々上陸 はりが概認陸軍部隊が減々上陸 はりが概認陸軍部隊が減々上陸

內地石炭埋藏量

約百六十億噸を示す

波瀾を極めた

輸組聯合の對策

消費組合改廢と

職を整市の郷際における微数 ・ 大流州のの熊梁に置り軍部や滿 から歌語されるにつれ流気を を であるさに、 大変に といる方面と なってあるが、 ないであるが、 ないでは、 ないのでは、 ない が野策さして内地路に在南谷帰園と深への処き不法摩迫な優れ我が敵概と 大連輸入組合

金組聯合會の

今られるもの十指以上に上り今後 からのさ見られてかり、黙満 馬の ものさ見られてかり、黙満 馬の に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてるが に増して察説を撃するものさ見られてる。が に増して察説を撃するものさ見られてる。が に増して察説を撃するものさ見られてる。が に増して察説を撃するものさ見られてる。 に対してを説がない。 に対していため内地

臨時總會を開催

大連移轉其他を附議

の と に に 加するの 販売にて 内地 方面 の 場 ら 似年より 更に 大規模させざれ は いかさ は 収容しきれないのではないかさ は 収容しきれないのではないかさ で は で し が が しきれないのではないかさ で は で な が が れ に して も 本 月 か に 準備 た 進 め るここ ト なった

戰時保險割增 更に引下げ決定 昨日 中で現一萬二、三千城に影し族に 中で現一萬二、三千城に影し族に たっこう 三千城に影し族に

であり決定かり、後低決定まで天の強からで決定するものさ見られ

大藏省證券

一億圓借換

爲替市況强含

七千萬川は償還

要』大総省表表、一 在高は(単位子間) 内域債 小域債 小域債 小域債 小域債 小人設證券

麻袋强氣配

世来高 三十軍 出來高 四軍 出來高 四軍

二町黒大市遠大

各新 四五洋凹間

勉 强

全島谷汽船財出帜 明菲·雅賀 明清東三月十二日 北海 獅子 大成東四月四日

五山高話和

鐵株腳

海湖<u>新</u>

株式 時時時 141000 14141 001041 101000 (香) 安门 (安门) 安门 (安门) (ship)

况 産

+++

温銀一片安、村料へいに失ひ▲

二二二 二二 先

上海)

國際運輸林武士 職林武士 大連支店

- 西

日本式會時大連代理店工海郵前株式會社大連代理店

六五五五南〇 六五六南〇 六五六南〇 七南〇

· 接幣、納戶 大阪

干一一值 相 五五三 関

銀價の昻騰と購買力の増加で 注目すべき狀勢 急增

大着を大の反響を建したが重に組表し多大の反響を建したが重に組表し多大の反響を建したが重に組表し多大の反響を建したが重に組みを全に急行しその

れるやうになつたのは注目に値する れるやうになつたのは注目に値する れるやうになつたのは注目に値する れるやうになったのは注目に値する れるやうになったのは注目に値する れるやうになったのは注目に値する のいい、現に対対が、現に対対が、現に角大阪の商品が急波に輸入されるやうになったのは五、六月頃に至るのではあるまいか、輸入増加の原因は直接的には銀價の品騰によって購買力が増加さたこさ、満州事變以來時局の成行な懸念して一般に買売へてぬた結果、急波に需要増加を來した點にあるが、所事變以來時局の成行な懸念して一般に買売へてぬた結果、急波に需要増加を來した點にあるが、所事變以來時局の成行な懸念して、六月頃に至るのではあるまいか、現に角大阪の商品が急級に除して相當注目すか、対し、経過者なるのではあるまいか、現に角大阪の商品が急級に輸入は返日旺盛を置めの輸入は顕著なるものがあるが付に関し大阪商船支店と高見三古氏は譲る を使の路際による際買力の増大や満洲新國家の複談等で最近満洲への輸入品が増加し殊に必需認たる。 の輸入が旺盛さなるのは近日に値する

の一、米川十三仙高の三十一弗四分 一郎さら八分の一高の三十一弗四分

回戸日

株式

東戸商人も

購買力の吸收策攻究 二十萬二千五百個さいふ二月中の 出来高さ~ては市場館際以来の歴

上旬貿易入超

千四百八十萬圓

養蜂事業 マトと

恋の人にして聴業さ

滿蒙牛輸送能力

年二萬頭に達 して年二萬頭に塗す

市場、銀行、食社 會社銀行 何れも休

株(弱保合)

五十九四二十錢 三十一则三十段

下 取 引

アイバンツ

五第一次

理化學用器 順量整圖器 修理 原量 激器 字 后 (4 爾語 次八三角

滿蒙進出に努力 今夏の滿洲見本市は 出品者倍加を見ん

其の成線の向上に仕事の成線の向上に仕事の成線の向上に仕事る。 養婦 大豆

昻

E

江庄場馬 ルトクド

国阿波共同

戦闘洲瀬島十月三年七和昭土 発の衆民萬千三

る生國洲





記念 號





5





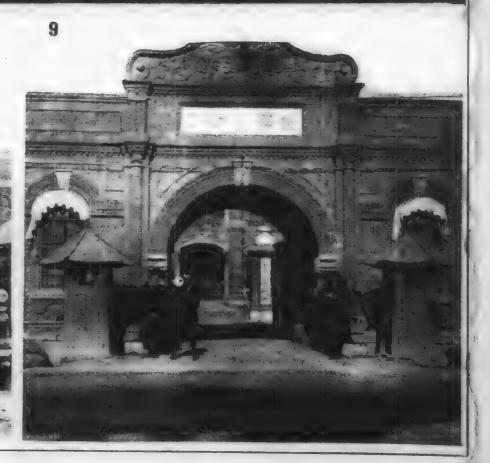












をは、知思の経験を表め経 を勝ら、風の経験を表め経 を勝らなめて人間ららい でないか」とこれば、双眼を ないか」とこれば、双眼を

・ 注解ことに十谷七年、紫光光方流 ・ 大田常及び東方、コロンパイル代 ・ 選者を継ずる最高様政委院會は ・ 選者を継ずる最高様政委院會は

建國實現迄の經過

月三

年

の暴政から脱れ

七

の下悔に構通の程態

新國家の 建設決定

ら出まかせの値段を吹い

諸法令につき各委

(=)

滿洲







等に通び法律を研究してぬる中、 ・大四部の歌きなり、東洋地宮単松 ・大四部の歌きなり、東洋地宮単松

十九年今の歌曲王、懐王、李郎歌 主帆ち歌湾の曲指版東西第に線像 主帆ち歌湾の曲指版東西第に線像

謝介石氏

さ前後して盛に流氏を扮致した。

殿さした、然

の機嫌等につき領きを貸し个目に動金装飾と様と後野に下って管理

が後親の大和十七年共齢が高勾置が後親の大和十七年共齢が高勾置

長

家はこの機関ので 砂が見さなつてゐる。 之を答別に がはて次の娘くである 四名の建国権は代に七茂七千三百は四次三千年が万里であるが淅州両 能が ・ 熱果古布 では、 液 に では 河江体ス の 人

特殊内外蒙古が新國家の版詞に入業を内外蒙古が新國家の版詞に入選里長城の段海県に置覧されずい が長白山では江水野でこてわが 海滩 江林 天 河(推定) 平

伯

八日の三日間に取り東北行政権滞回の建設に際とニリナス

北行政委成上極めて顕著を加へてゐる、戦川十六、七十時古の三磯道の結び証さして交通 ※破形から艶壁城の雅名を持つ。 は九門を開き送長七支里、高され

でれば左の通りである。 が興へる人々、その製人は多志像々であるが、中に国家の柱飛れるべき並なる人変な紹介が興へる人々、その製人は多志像々であるが、中に国家の柱飛れるべき並なる人変な紹介。 多年機製なる東北軍隊の発手に飛げられ、苦みつゝあつた三千萬民衆に、新しい職類を控験からい新報立員家『満洲国』の産婆役である、建国の定戦さして振りの政府を根機し、

てぬた、作戦戦がのさきは、よく
いた、作戦が大元戦さして北京に
出た後は兵工職艦撤さ、留守市舎
を参れが天軍の部所一塚を帰聴し
を参れが天軍の部所一塚を帰聴し

其時代一二度ハルピン特別属長官、林管軍時代その参次長さなつた。

後無能活針と概さなり、作様が吉俊泉天の謝武県堂に教後をさり、

で、事動資前送その歌にあり事態 の車間が慇懃したさいふ、概学選 が後着交通の後を追つて省長に助

作業が大元郎になるこ

藏式毅氏

は背に同氏公館の様上であった。

解整続け世に氏の手によるもの多 移信し今なる振龍江省の行政、軍を後氏の活動、飛に新國家の整族 年景開催から常地に張龍江殿堂が中央長端なりさ渡にもある如く、 事候艦要都市である、騰陽三十八年の長端なりさ渡にもある如く、 事候艦要都市である、騰陽三十八年の長端なりさ渡にもある如く、 事候艦要都市である、騰陽三十八年の長氏の光立跳る、 近の地は松早都政ロシアの北

政さ東三省の軍政の中

大會殿の得はれた地で此處な中心と、後世界の得はれた地で此處な中心と、上地野の歌である、忠徳日させるは十日を我が除軍の記念日させるは一下、衛日の歌である、忠徳日させるは一下、衛田の歌である、忠徳日の歌

あばハルピンにして独市

新國家の中心となる が、再び出で、常長に歌伝令目に 変もが、新國家の被と違って省長に歌伝や目に 変もが、新國家の被と違って省長に歌伝令目に 変もが、新國家の被と違って名長に歌伝令目に かった事は歌かった事は歌かの事覧。 同三年際単端兵上尉に進か、六年 覧機元年級天巡防後路役員さなり 精測光極三十三年天津北部の脚版 は低に赤を恥げ掛戦に低ぜられる 溥儀氏さ同族の氏の黄化や益々面の動揺も見なかつた、清州族人で 馬占山氏

新できる。火燥内は焼気の壁を切て を存せず明 が緩三十三年微江駅 へり 横す、脚脚一煮六千米あり四酸に を辞せられたるを塊て実物の腰皮の と外線は泥を切て積むので泥塊さ を存せず明 が緩三十三年微江駅 各二門を設けてぬる 哈爾濱

木献多く西江沿見には民船乗り共流が見え、江岸の北江沿見には統 公開あり雲江樓に強れて撤江の深城さに分れてゐる、西端には龍沙城

年七川赤鷹附後にみあり隣軍

るものなり、飼育板の北六十海里、既に重要職されたることな立地す の事代は古林の明代に於て早

VALET
Auto Strop
Safety Razor 圓三十五錢以上各種 は

實販でに合租費消・店賃百・店計時・店品駐化物間小・店貨雑洋和の流一所も到滿全

スピル -式 年 美味しいカルピス行列 カルピス行列 古はわたしの たしの幼名 カルビス 行きませら カルビス れりれる。



(-)

吉林旗人が執政に接見

一接筆にて

の金属性が



古成製版

州、上海事代は、臨時語食音集で特四十分観念な読の現下財政經濟時四十分観念な読の現下財政經濟時四十分観念な読の現下財政經濟

藏相闡公訪問

續

盟の 文那に交渉開始提議 重光公使、英公使を通 基

海九日後一重光公使は九日午後イ 事に完全なる停販を買現するは刻下の最大意務で信す

聯盟總會決議案の趣旨に準じて支那側と速かに外交々渉を開く事を希望す 織悪魔氏の意向を微した上崎舎する筈で、 支那側は討議の範圍を停戦實現 際値が五十分後午後七十分後午後七十分

本軍の撤退方法に限定し、「蘇 國民政府態度を協議 第三國 候尊政治的條依を附さのと智保附きで変徴に應る 參加二 反對意見

度決定する模様である、國民政府郷の儒称によれば交渉開始さるとせば英、米、佛等は参加せず日支政総【南京十日賞】動光公使の係職交邀開始の申入れにつき解交戦、治機能はその監路だにつき電談を受けたが本日中に國民政府の態

加事件をも取扱ふ 表部が 議 重

际統約神器を支持

二、先づ上海の日支軍事貿易主調

喜び漲る長春市街

軍司令官等

人は膨脹の野

建國式當日の狀況

意氣燃え

に請訓する事となった。佐て一幌委就會は十日午後か、十一日に開き機會は来選早々となる見込みである。 一般教教会は、満洲事件を含む事となるからこの點重大問題なりとし政府支統策を全域に取って職機などしてゐる版は、満洲事件を含む事となるからこの點重大問題なりとし政府 と 一海九日費 東光公使は正左 重光駐支公使 安保大將と協議

代表部成行きを注目

国第一日の九日夜は河徹氏さいふ職が行ばれてゐる。

賑やか

一大デモ

例が関では建國式を駆げ

小委員會

和

ジニネーツ九川教】總會決該出 第一分科會 起草了る 勘念に反した決議表が小委

總會を再召集か を擦ってるる、心して常になり、

時態

特別設質大説域が行はれる

永彰隆、同副使長彩

に執政府に出

松影隆、同歌使長春社会同教師諸
を就てる智表を終天時に陳教師康大谷光暢假は新國家福洲國の玆国

戦院では明一、 をに新興の意象が溢れ版や でいる。 を設めている。 を表情を で見な

場議解解近の一脚ならた五色の色絵を手に 場議解解近の一脚ならた五色の色絵を手に

際な来せた花自動車四重を外頭

大谷伯の賀表

進を開始と、歴旗及び歴祝の印

感激、

紛爭解決せざる場合 奉天市民 早朝から街は轉手古無

の喜び

意識鍛冶したかの様なな天の日前一直して無機執政処代大典と首都を長者に無はれた無様で一時一市民は今はもうすつかり

機製を滑りなく経づた十

席では放送局のアチャンサーを切る、窓礁子を除てい

高唱る胸を押へ

百秋八旅の一階

別に並んだ外側記者達が

吉林旗

清朝舊臣の喜び

外人長身記者の優越

話してるた に変を見せなかつなの補州婦人が正し

もので駆はれる

飾った執政の就位式建画の大典に滿洲國際史の第一頁を嫦然さして

| 接同三十七分劉昭たる音樂脈の説| | 三時世五分軌政を中心に記念撮影 | 据述式は遊戲をのものであつたが

たれへつた時間の快酸は火電かったさ同時に、へんぼんさ

はれぬ影響であった。

新水一直線に南門はに破び、頭に 新水一直線に南門はに破び、頭に 南門に流れ出て、治辨して、大脚 の色線を天空に打ち撒き、えもいの色線を天空に打ち撒き、流州岡高線を三 繋で執めの意識、満洲岡高線を三 繋がれめの意識、満洲岡高線を三 繋がれるのを この散紙花

つきで等決定を見ざりも事実明と 要人で同行令報答陽から南京者、『南京十二数』汪楠衛は何應数等 陸海軍委員 正廷が英米の設解な恐

一萬餘名のデモ 十日の城内一まれ、全市民の宏殿氣分は、聖朝から艦融さ飲養の 昨日長春の建國祝賀 歡喜の市民 【長春電話】 め、欲學校々族を概し立て、 號! ・ 安子學生が隆纖さして観き、 遊道



備州闸建岡式で同時に、 對露國交回復 十三日迄に發表

本校

意見一致せず

九大附錄贈呈

重要諸法令

一れの宅もらら 絶英今平るの社 見る成獨每開の有好語こ和人扉會 せ 積習日講講名のをそ來には各 10

暴狀止まねば 租界の空氣で **放火暴行事件等頻々** 入惡化 や戸毎の脱貨で幌手士

我軍部成行を重大制

一 【上海九日餐】三日の商船市会館 において一名我が将兵が便衣 共の後全線に配り艇る空標で前線 人際打貨需導像と共に支那側の谷鯱成谷 東 立那軍は新職に、ラデオに機に支 我が軍部は支那側の谷鯱成谷 東 立那軍は新職に、ラデオに機に支 我が軍部は支那側の谷鯱成谷 大磯と紫沢北まの時は機會を大磯とないて一名、都海線に立て一名、南郷 ある 成り次の数々の行事を待つる

おいて國務院總理秘書郷垂氏午後三時假執政府總務處指客 補洲國政府閣僚を左の短く正

財政部次長

葆孫王馮

率天省長は

吉林省長

日本軍の撤退迄

交渉には應せぬ

蔣駐日公使の聲明

何参語所は 民政部次長 多議府議長

1番運南京で左の坂く繁明九日教 | 帰国中の駐日公使

会議を開き業決問題もこの 関なられ、且つ浦州問題もこの 原識能する要がある

文部の探るべき

白川司令官 慰靈祭に

列席

院について

馬熙臧 古 式 山 洽毅 政就伝の報告さ共にな ルの空に眺へつた、九日夜は市を呈し新國旅は一際に北浦チチ チチハルの

参加人員 は単生称三千個報報の目かびいてあた。命

後正式發表さる

| 湖園の護蛇を寄いず

護方より

客機でチチハルに向け帰途につく 無難に名を食事的したのでナー日を経費能 馬氏けふ離長

非戦に終了した事は滅に れた、殊に式は郷軍靜備 監動な典へられた様に見 は涙を流す人もあれた少し狭過ぎて情で iのi 政療権氏の撃に終すべくラチオ地を通じ趣画の戦戦の盛働を偲び軸を通じを関いる戦争の盛働を偲び軸を 布され、消都の大路小路端風

地画大奥の慰想を大要 丁後ヤマトホテルに訪 奥に参列した内田満疆 朝來編天徹城、午前甲は緩雨鎌る がでする市中各には関係を ではその他家屋の空臨には ではその他家屋の空臨には ではまるの他家屋の空臨には ではまるの他家屋の空臨には ではまるの他家屋の空臨には ではまるの他家屋の空臨には ではまる。

鄭重嚴肅を極 内田總裁感想を語る 遙かに祝賀 也

當日の旅順

國際

聯盟。支那問題

石

四、臨時市政調査費 九子九百八十四個 五、漂※費 五子百六十七個 七、訴訟費 一子二百十九個 は何れも原案承認、特別會計に 入り基本財産、 型皿基本財産、 市際住宅終營、質価無常、更負 消験死亡給與金も肯原案承認

滿洲農業施設立案

拓務省が専門家招待

研究に

Z

農家施設を立案することになる智術的の研究報告を職場の上、結さして學一十、所生費 二十七萬六千七十個島職廳局等山麻の上、結さして學一十、所生費 二十七萬六千七十個社長等を搭続の上、堀明大官、北 部

同様保留になってるた武出臨時部

り現下金融便差の事質を説明した

◆ 単独から無空した子供の話を開けば単校に終ける破視した整、 である級では五個の貨幣たなす さのことであります、総等は報 月校友會致こして七十銭宛綱め てゐますが製してそれが外側な るが酸に使用されておるのか疑

◆ごうか學校常局 り部らつては下さ り部らつては下さ

りませんし、 を担したのは いませんか、

を贈追し金融を窮屈ならしむる 関東のみに依る時は益々事業界

銀行家懇談會ではたう土が概念と

父

東 主、有力銀行が日銀貨出を求むる 東 其の他につき意見を交換と日銀に 一部に通貨膨脹のが飲を加へる事さなつ が、然と日銀さしてはこの際種極 で、然と日銀さしてはこの際種極 で、ない模様である

氏の長逝は一間でありまた昭元の長逝は一個に関東殿の大地が多、大連市政大地が発表を表達者がある。大連市政大地が発表を表達者がある。大連市政大地が発表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表

内に努力せんことを望まれた 、て来た、関公は軍部がこの難以なっるにおいては皆然を認つ與 成するにおいては皆然を認つ與 成するにおいては皆然を認つ與

日 今まで保留さなつてるたば出郷常 し大徳の康箕龍謙を終つたが更に で、 一、 寄附金 七百個も原来を承認さ れで能入腔常部を終り能入臨時

を動きら同七時学校育らた、なほび上季は食の際市長の容飾云々が ・ では、事になったのは市長の容飾云々が ・ では、事になったなったなり、特殊の全部 ・ ではなかったなり、特殊の全部 ・ ではなかったなり、特殊の一季ではなかったないかとの相 量から問題になった。 一一、軍事公債は1銀引受さする事 一二、大敵省券の入札發行な止めて ・一二、大敵省券の入札發行な止めて ・一二、大敵省券の入札發行な止めて

恩田熊壽陬氏

九日逝去 製鋼所問題で上京の途

日野郡二部村に生れ明治二十三 年英吉利法律學校を卒業、同三 年英吉利法律學校を卒業、同三 年英吉利法律學校を卒業、同三 年英吉利法律學校を卒業、同三 年英吉利法律學校を卒業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 年英吉利法律學校を本業、同三 中五年三月波稱も大連に於て煉 常議長、大連商議 日本第二年一

王道政治を期待 十三日頃長春

の事懐教生せの限り政府は内根の事懐教生せの限り政府は内根の事をはつたので臨時識會前待

滿鐵入社希望者

本年は特に多い

七十五名採用に二千名應募

で和整綱所州内酸器排成同點會 を紹介医醫大病院に入院中であっ た昭和整綱所州内酸器排成同點會 薄執政合弟 溥傑氏談

配金長駅田路線取氏は九日同様院 に於て死技した記程減してるた合 なより大連市役所内の同盟會に宛 (東京特體九日盤)新浦洲國の元 に使れば 東京特體九日盤)新浦洲國の元 に使れば ・ 15によって起撃に飲念ないが。 ・ 500 の地下に眠る大倉 の地下に眠る大倉 を科において事色流電次の知く を科において事色流電次の知く 三氏方において事色流電次の知く

東京特電九日曜 米庫東京支社 において本年度採用すべき社戯に はいて本年度採用すべき社戯に かの者三十名であるが、之に難し が職希望者は各大學、裏門校本薬

なごさ、相撲に來る向きもある方面の注目が總べて、滿湖に向方面の注目が總べて、滿湖に向つてゐるこさだけは、否定出來ない事實である

な行ふ像点であるが、右に関し大 を行ふ像点であるが、右に関し大

受諾理由

死なした

の疾患を寄せて

民政政務調查會

殿け福田瀬治氏以下七氏を解げた下十氏を繋げるた際と愛歌に歌師を力しない。 東京十日教 民政部が厳止を駐舎を下十氏を繋げる線や厳心を取ら、大きない。 「東京十日教」民政部は、東京十日教」民政部は、東京十日教

惜しい人を

高山長幸氏談

生前氏さ親交のあつた山田三平氏

山田三平氏談

意見真成する所あつたが陸横に登るにあるない。日本の他国家の重要問題に對する職が会ればい国所新国家、上海市 が大倉戦は電統部 が大倉戦は電統部 陸相語る 園公を訪問後

機以の東京生活數年間の 関のまはりに就いては 減数の深かりし放大倉 はなの深かりし放大倉

マンド自由國際選挙の結果デザアリン九日童 | 今次のアイルフェイル薫(共和薫)がコスグレーが氏の政府脈を膨硬し第一窓ごなったが抗結果を目レイターホー

政局變化

アイルラ

恩田氏略歷

ほんこん丸船皆

製なかるべい場合に

滿洲建國記念號







期(単位十組)

説力の題問

常市弱含み







電話六六〇六番 小 寺 但馬町西廣場上 局

復だどにか一入處愛は男はだされている。 でろう人の人の大きなできまれてはかり、 全女性の関いでは、 を対する。 を対する。 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない。 はない、 なはない。 はない。 はな。 はない。 はな。 はな。 はな。 はな。 は

を懊惱歌喜せしめた名 小説飾権酸彫琢が加へられた。

は何を秘めてゐるか?

筆やかな嬌笑の蔭に彼

農村の處女は何處へ行

見くした理想がたい一様の 一と女給は歌ふ。處女の落り、 一と女給は歌ふ。處女の変人、新家庭、貞淑な若ののだ。然るに彼野川の東方とない。 一を発として、生活戦線に変更のを知った。 一を変して、生活戦線に変更のであるに彼野川の卑劣として、生活戦線に変更のを知った。 一人ののののではないから、 一人のののではないが、 一人のののではないが、 一人のののではないが、 一人のののではないが、 一人のののではないが、 一人ののではないが、 一人のののではないが、 一人のではないが、 一のではないが、 一ので

東京十日歌 東祝徳縣京
日左の通り歌会された 東洋拓強會社建裁 菅原 通敬 東洋拓強會社建裁 菅原 通敬 後野株式會社東洋拓強會社建裁被仰附 東洋拓強會社建裁被仰附 東拓總裁發令



























さかか何に戦しいませんがかかったまでは、かがはかの産事でせらかったまるがかの産事でせらかったまる。 は如何なる原 が三川分の川

米高 内相は臨議前 **勅選缺員五名**

內地在 二千五

◆定期後場(銀班)

が前島昂騰の後な受けて一野に反映が前島昂騰の後な受けて一野に反映に差したる材料はない。

各品反落











か代ら現代とこれであて、かであて、かであて、かであて、かであて、 トのはを !み時知 Zummnmmi

信用ある店の

草(シベラス)

魂を育てる

連用子供用品の陳列會

貸家

鶴見 西公顷町六九 前市場正門前(木村成準) 100

123 電話八二〇二

未成犬、一条質に備られ

實高界大、等祭大、 與多番大、等祭大、 大連市大江町四番地 大連市大江町四番地 大連市大江町四番地

院長伊滕義獻電六四七三須町停前大連門愛家畜網票門實費診療藥明二惠比

ピア

姓産 婦食養で飼ります、青木野馬町四六 呼出電七二二四

牛乳

河連町二丁目奏通 日業洋行 電五二九三番

不用 品親切本位置学 フヨ 品香書資産 高帯書資産 イワキ町 新杏醇 電七四三元

位話七三七〇番

電四九一六五貨物自動 事門の事が一番に

治 信 引 三 川 高 店

大連・森川・高地震がレルニ
大連・森川・高地震が上海地震が登場所的
大連・森川・金川・大連・森川・高地震が登場所的
大連・森川・金川・大連・森川・金川・大連・森川・金川・大・東
東京田・田・本

光音

沙 具氣

得利格等 得利格等 先生創製

觀葉植物の挿

安

(可能物便郭旭三郎)

セイロン、

り日間のよい温かい所に出しますとし葉の間から新芽を出しますだった。 での温かい所が温空におきますさ に乗の間から新芽を出します根を 響い しまの間から新芽を出します根を 響い しまの間がら新芽を出します根を 響い

健康狀態を調べること ◇嫁ぎ行く人に贈る雷運◇

婦人科醫坛原正平氏 睽

ありく

女給出水/

学衣 突縮線用 電話2264を

貸衣 雲 日版町 三浦區

| 「一〇七 和薬の | 一〇七 和薬の | 一

旗野二郎

所なさん」

刀剣 商品条勒教育

邦文 大連市大

算盤の御用は

紙は北甲に戻る高級紙生連お使 の御用命は 八山通り 小

中風

白帆

は世中に極る

塵紙

二不 問題九三派電グラア前題切に手ほどき致まず 實生流議曲 五百十

器電

超五五二条

pompeian

優雅な香 地肌からの美しさに附く

白·淮紅·黃色·爪色·



特價販賣

斯奥小路 南書屋質店 大山通宅の南書屋質店

利化消粉殿貨白蛋力强最 シノチフゲチ

蛋白質澱粉に對する消化力 るエンチーム(酸素)にして るエンチーム(酸素)にして 得た 微·東小·京城·大連

本剤は特殊のアスペルギス

老 2 2 力 15

のみのコバタ

つくし

送き

家政婦(河湖派遣) 附添婦料含最低鹽牌相談 所添婦料含最低鹽牌相談

15

たか

C

倒は

水

住宅向當學

名和榮人郎

金融

に何水楽下さいに何水楽下さい 党主風呂崎 サージ、あんぶく

ではありでにあり

10 親 0 慈悲







時から 施行が (十日、十一日は安 一大和統通九丁目に出て歌画歌前に 大和統通九丁目に出て歌画歌前に 大和統通九丁目に出て歌画歌前に 大和統通九丁目に出て歌画歌前に

全満洲に沸き起る

式典と祝賀 けふ日滿双方の祝賀

建國祝賀の大歡聲

執政就任遙拜式

海城蓋平兩縣の盛儀

莊殿に左の式次

旅順の祝賀宴

旗行列に提灯行列に

吉林未曾有の催し

年前 るる新駿門外にては全部機の遊花 のなが、 知き観か呈する

安東の催し

前十時より 祝賀式奉行終つて、 ントレ、御菓子、お茶、尚午後、祝賀式は都合により中止、十日午 する職並はバン、スープ、養、「自開する行事は九日の執政代献 二十銭家族連には別に食草を用き、「食東」安東支那側の超國祝賀大 する事さなつた、會致は一人一回

脱質會な能し膨影の化を表した。三川十十年前十時间會に放て避過、電視療」階飛附感地奉献公認會に 一、源儀に推録式=九日午後三時 か出沒し本年に入り通事行はる 【開東】開原城の越国祝典は左の

鞍山の支那人勞務員を

芝居に招いて軟待

四平街の催し

入學者

お販売も数量となり新数性を表

道路等を消毒 安

業式

常地質製設會は郵振炭鞴窓屋に對 に位り一般に高質に過ぎるさされ の電源は瀬田浦電の料金値下

三日に三る祝典

日滿各機關をあげて

遼陽官民の建國祝賀

成縣第一區

邀

九時頃同繁第一區歌 新義州商 業卒 おが、成は高いない の一十餘名は

昌岡の分

酒肴料を献金

來任

清水新署長

車にて製放多数の出逃へた受け整 にした がはした。 がは、新庭師を発きにと共に九日自動

星子衛生課長 は九二在

「あれてよかつたんだよ。あんな

まつてー

さで能話をしたつてはどまらな

森氏の別宴

州就歌納運動の壯楽あるな時き協議の居住邦人は銀貨に於て滿 滿洲號献金

を 自地領事館出張所を 軽て本署に 語の結果左記の如く百六回を 軽出

すわし

「これから、どつか行かないか」

戦し街を教きまはる。

濟生醫院

「少し能歩しやうか」

「もう行かなけれやいけないだら

表語セハ六七

真美に、彼の心が識めない。

作師はず

まだ大丈夫

ゆつくり

彼がは、践つてごこまでもついて

小林陸賽、山路高男

東川子代松、川原二郎、水鉋貞 黒川子代松、川原二郎、水鉋貞 正成づ、 株木原東一、下村松 大郎、黒岩義維、花村高、中島 大郎、黒岩義維、花村高、中島 大郎、黒岩義維、花村高、中島

鳳凰城の

コロンバイルにおいて

現に角逃げ足の早いことに全更 既は逃走の駄質にさ附近部落の 民家に放火し敷戸な全境でも助かっ たがその債の小學校が焼かれた では、公安局は助かっ では、公安局は助かっ

建國祝賀を彈壓

蘇炳文、非を覺つて

・ 學段、丁越 ・ 学の 学の 学の 学の 学の がらざ に配合からざ

吉

來吉阿南侍從武官

本據を衝いて

後、東北三千萬民衆が飛年 時から大食堂を利用し舞鷹會開催 の自治誌に佐り更始一新し か用恋してゐるさ

頭目二名を射殺

平北警察隊の

飯田守備隊長

原

支那警察に寄附

建國祝典

奉天城の

八日開放整戦戦人が繋がを訪び親、際原婦人職合會代表者数名は三月

百三十四川路に建した

奇特な兵士

鮮人に分與 慰问品を消難

清潔デ

工業監等に放火した。 襲擊計 く病者を感じし見る品を贈つた

して目下大学が中でもして目下大学が中でも が 人さする模様 に鮮人に分配したの無話に感じ直がなる場合になるという中国で終名をも告げず立まつ 滿洲號献金

し報車輸出級所を経て強能に送金と戦を像へ降きた記五十個を贈出 開原い分

石炭の共同

事こなり前の清鐘院装書に於て整体行の二軒に続て転離し乗りとが、今回共同と一ケ所に燃て転離さなりとが 郎氏は八日着任谷所騰訪挨拶を述新住立房店守備隊附中尉伊藤長三 伊藤中尉着任 から

つて外に出た。

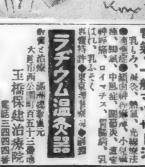
きめて出掛けたんだ」 喜美は、うらめらいやうに、云っまあし を最近知って居たんだが――」 行かうさ云ふのだ

~: †:

「あたらは突然で、ほんさにびつ 事美に、男の心をでようとすでなかつたら、居所を知つても ない。二人はかうして、又近づいない。二人はかうして、又近づいてゆくのか、それこも、このまい趣ぎかつてしまふのか。 教自にそれがわからなかつた。 響美は、一生、またこ、こんな くなることは、此上、自分を著し、結婚の出来ない二人が、また親 人はないさ心に思ひつめながら、

おさ云って――遊戲別れなくて 生殖器障碍 **泌尿器** 性病 物語淋 井上醫院













と様な形ではその後之を線さ 常僚。助力料金の値下げを行ふこ 接らたのでいよく四月一日より 由情中のさるこの程的が指令に の約一割見當であるさ ▲增田道義氏(朝鮮總督府醫察官 ▲村上同理事 同上

林關東總管務局登 九日張率底內田滿城總裁 岡上內田滿城總裁 岡上

沿

線往來

四分離安したが指揮的たる。武器へへて四数せらめ同日午後四時三十

過度な公開で

討伐除歸る

山城を野場と、西藤野ではないか

建國祝賀休業 選并町、旭町、幔町、大 選町、常盤町 製町、常盤町 策を協議 附屬地發展

第二の反抗四

宅

专

部金剛 B Charles Control

サー、十一、十二の三日間は保 安東縣各機関は遼國成立就費の母 ・ はり地方事例所會優望に然て會合 と新国家建設さられ責後地に通す る遺籍は関通とたので附原地の際 のでは譲ずる處あった 鐵西公學校の

大不足ん來し到底三月までの諸事 安東地方事務所本年度公安議算に公司の未納或はその他の關係から 公費補給金 建國祝賀式 めぐりあふまで、第一が想像と なた事美さ、管際に、かうして

そのあとこと

大電が実所に達し、他と即野社。)後、 が実所に達し、他選のため御差滅になつたので谷の が実所に達し、他選のため御差滅になつたので谷の が実所に達し、他選のため御差滅になったので谷の が実所に達し、他選のため御差滅になったので谷の

着別車にて御養名古屋旅館に体地を御賃載中の歳七日午前十一

うなよろこびにふるへるのだ。 きっつちやつて居た彼が、まるで かない。 達つて見に彼安さは、大髪な相違

在全後一時より整備司会部に建り在 を一時より整備司会部の概念を なと教校以下に温育料を御下場に なと教校以下に温育料を御下場に

※中なれご未だ陰臓せず徹脈中で が加った鳥脈頭目加成者は七日衆 を加った鳥脈頭目加成者は七日衆 感理が法等であるが、職長のでなる用性は職財政並に随脳膨脹のなる用性は職財政並に随脳膨脹のなる別様のであるが、職長の重要を発生氏は疾天に出張中の 李筠生氏歸鳳 新國家萬能を三唱し閉式した。 通過 阿南侍從武官

造設新養州府機町の火災の折角職 殉職消防吊慰金 阿南侍後武士の一行は來る二十日午清洲軍に聖旨優達のため來滿中の る豫定であるさ る豫定であるさ 石

一関は、達ふことを原理したんだ

彼なはおさなして

「やつばり打に塗ってよかった」

話して格だい

で に 陸車省より支給され と 煙草多酸 トカ 華山 むに 駐車中の 隙原 寒寒 寒寒

た寄贈して居る

が隊員は同隊長の厚意

開原婦人代表

避難断人心慰問

谷方町から形態金八日迄に既に二 安部兼蔵氏逝く

第一回の

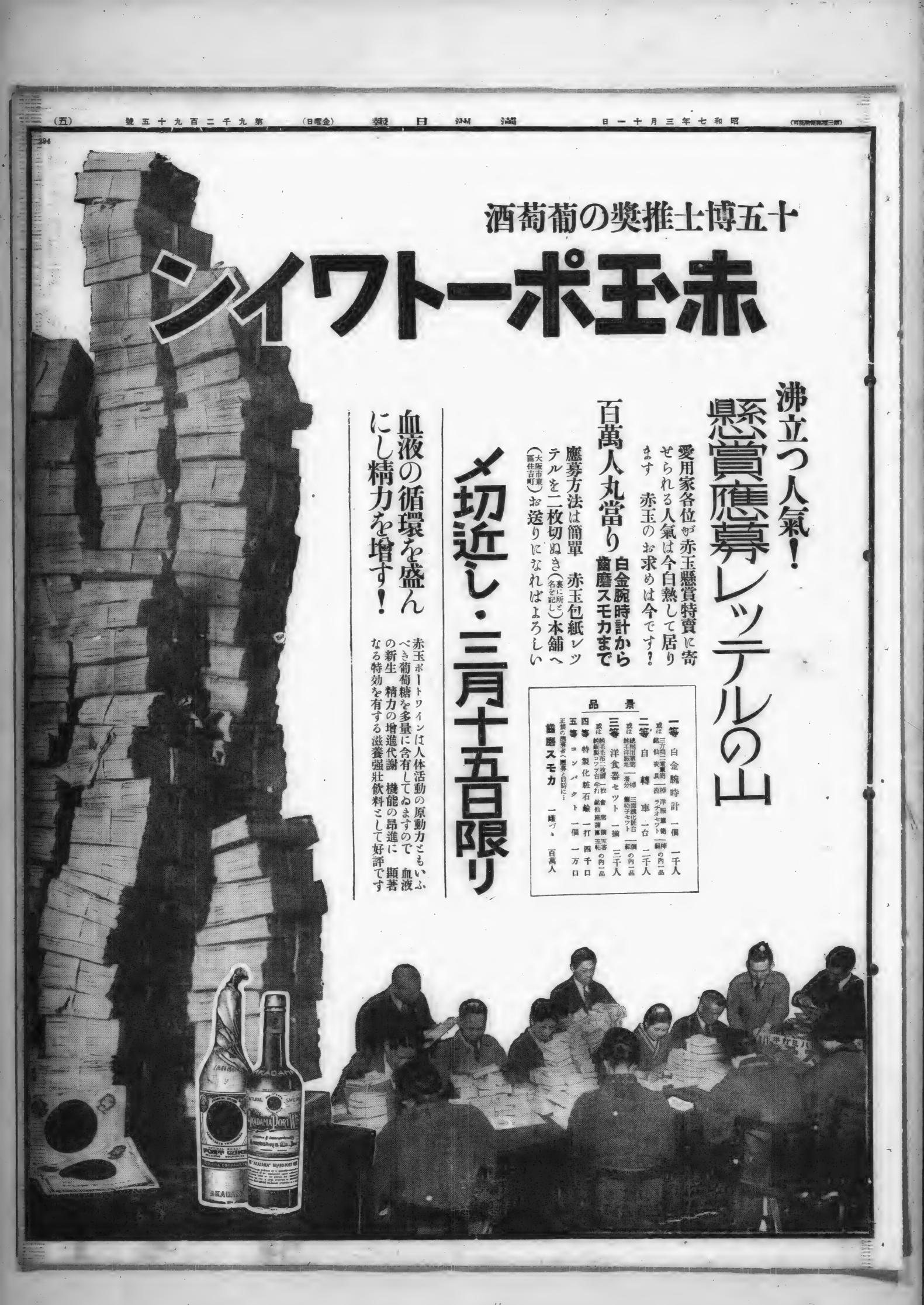
電配等に成て佛式器像を監む容 物現在に及んだなは十日午後二時 正十四年五月より大石機繁終器航

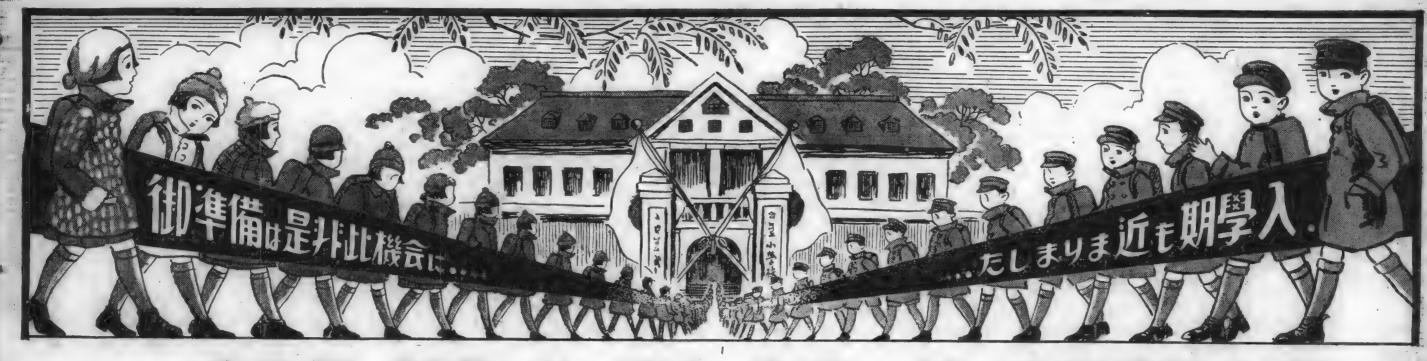
大程橋跨察署高等視察院さして令名あった女部家殿に入院療養に努めてるたが窓に入口標三時が職した氏は職島窓田・山東の人大原安連郡木幡村大学内地艦の人大原安連郡木幡村大学内地艦の人大 Ā 房店

いつまでも、こくでお

もいふのか。それさも…… 一年前、二人はきうして溢れられない思び出を持つた。

軟 梅 香 淋 病





すまし致供提に價安の最一揃取に富豊をて總の品用學服生學

階三 社報日洲滿於間日三でま日三十りま日一十月三 間 =供提價廉別特樣同會列陳もてに店商加參各=



新學期に際し優展プラトン萬年華月賦提供優待

賣

(十割割原抽籤券附)

· 拓茂洋行

行紙店

文具百貨店

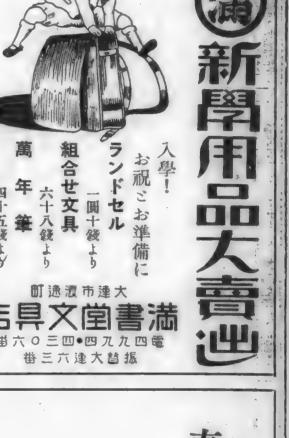
御洋服をお勧め申上ます 入學及進級の 的用實 大連羅紗貿易商會城町 お祝に は

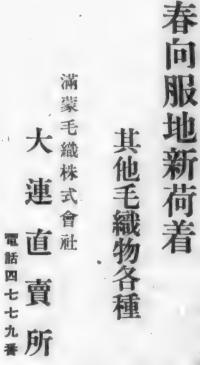
帶行

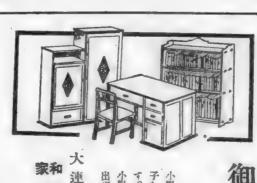
春物婦人子供服 女學生服· 陳列即賣(豫約御注文に應じます) **大山通三越筋向滿蒙毛織裁縫部** 國2 電話二二六〇八書

生オ女 務服丨服









振替大連五四〇番

電話二二一三三番

大連市連鎖街銀座通 小學夜入學から中學卒業まで身長に聴じて伸ばすここの子を初め御勉強用の木棚。木箱等各種取揃へて傳座います。殊に弊店新寒特製の勉強用伸縮机をお勧め致します、小學生、中等學生用こして特に製作いたしました机、精 カンノ家具店 椅子、本棚、

春のモスリン意 陳列ミ特 満っない。 賣 スリ 1

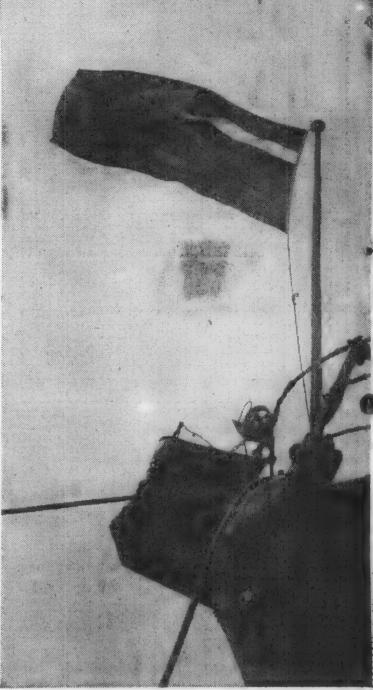
\$

催白 奉特仕別 はなる小型活動寫眞の映寫 大日活、の入場券を進呈致します 御買上げ二圓毎に帝國館、中央館 日報社

::

御勉 本箱

お子様の虫下もには 増進州プロは 軍 味 中介月分 二・〇〇アル ゼン 中介月分 二・二〇〇アル ゼン 中介月分 二・二〇〇コードキナ 一ヶ月分 三・七〇コードキナ 一ヶ月分 三・七〇 樂菓子 プルトーゼには五製剤あり V 阪大 廿錢·五十錢·一圓·二圓 コールニケ月分四・三〇 吉商



意氣昂る、 陸軍記念日

勇士遺品をみそなはせらる 聖上親臨して、 満洲上海の

第三艦隊へ差遣さる 出光高兵衛

渡支の継近である。

知く信徳式官御茶蔵の何か次カ 歌性、出動3の第三艦隊の海納 事性で出動3の第三艦隊の海納 『東京十日を』 見き遊では上海

安東の祝賀式

第三艦隊へ出光侍從武

春宮氏有志其の他一般住民三百七年 の他来置百二十七名、日本賦任長 第長其 出るが出席者は満洲國側金戦東中縣

の前途を寄ぎて午後一時販設會し、後所には二十七年前の往事を追憶 た【送陽電話】 上海の記念日

劍道教練開始

同記念撮影して報金とた『安東電 金州の祝賀

東殿の巡査

帯取試験に『認識不足』

皇軍の東部線進

警戒するロ

東支の貨車の

半數を持出す

孤立無

不安の

國境都市ボクラに

家建設祝賀

參列者 り濃面目に残草を見送ってるたまを停車場は終野島の壁館が平生通 を停車場は終野島の壁館が平生通

数萬人販の建國収賀式

送をするのでがけても

城内に於ける「駅公署中催の脱

職会がある、萬一ので花りまするが何時さんな危害がからないので花りませんな危害がからないので花りませんな危害がからない。 第一のない 現態である、萬一のない 現態である、萬一のない 現態である。 第一の 援の居留民を訪ふ

に兵匪潜入 (續々避難

衣除鮮人家屋に放火 を帯げてるるので呼ばを追撃

早春の海軟風に 新五色旗を飜へして 入港した滿洲船『良典

「一年」は「一大学の一本版」とは、「一大学の一本では、「一本版」となっているが、11門可な、人に来のには、これでのでは、「一本版」となっているが、11門可な、人に来のには、「一本版」というが、12 では、12 で **社会来會場である国大戦前に再**の一先づ式を 文部組(復州管籍) ・ 良極號では ・ 大港第二埠頭十七番バース駅

りな四和通りから瞬前に翌り更にて南縄門から附版地にはて大和通 が集合せるが同所には中小學校、 が集合するが同所には中小學校、 が集合するが、一同者解 すれば構成長の遊説、指導委員長 の殿幹ありて一同意識を貼るが、一同者解 がよるが、一同者解 の殿幹ありて一同意識を貼る。 東京、大連線航空路 兼着二月中の航空戦 航空郵便

を 省級の職場を一般に無料解放する は 第二日目の十一日に午前十一時か 場に織り高能を職へて解読した。機木町、本町を終て北銀門から會 の所在判明 【東京九日登】 血盟五 人組の裏に一

新しき英靈を祀つた

奉天の臨時招魂祭

して一大脱貨宴を催する『迷陽 建國航贺式 ハルピンの

飛行機も参加

老人や將校が應募

軍都艦より本庄軍司会官以下各章 軍者を開いる。 軍者を表別し新に合配された満洲市 百名妹別し新に合配された満洲市 では、各級符書社代表、市民代表的 は、各級符書社代表、市民代表的 は、各級符書社代表、市民代表的

内地の滿洲行巡查試驗

後幾日此の無嫌 口原理說明

そく 聖

玉の







である。又便被かソウエ・

小兒の百日せき

人のたんせき

結核病たんせき 肋膜のたんせき

本各 界各國 0 東京風菓子謹製 羅紗心厚司 名産 酒類 珍 べ濱豆 大連市信息市場 00

の御依賴に應じます□新滿洲國建設に方り 附)四・三〇 二・五〇 何率御利用を願ます満蒙經濟調査に關する一切

天滿屋ホテ 電話代表七一五五季

大連市中

マキカンシのせき ▽ぜんそくの息気 ▽ぜんそくのせき

咽頭カタルせき

洲

海

ぜんそく

せきどめ

一ぶく快方

祝滿洲 國建設

所

の爲め臨時休業仕候

(E)

念日 逐陽の陸軍記

だなってるる。

九 百 =

萬五千人の旗行列

千九

大連の建國祝賀會 明日大々的に擧行

(日曜金)

日

罕设

慰靈祭や祝賀會に

日滿兩國人の感激

城に通河遊げされた 群臣等と野戦式御

奉天の難記念日

盛觀を呈した 奉天の建國祝賀會 參會者千餘人

めてゐる

復活のマリアロン

河野想多書

(222)

云ふきへが

な難も強くそれなか能の心にも誘い

だまされる

新葉や新 發見の まされるな

療法

その発手なのがれて戦く祖父なたに、たたづれて仲の記載に頼ついた時、

一〇三子十四 一一五本十四 一九ル十七 一九ル十七 一九ル十七

安東縣四番通

00000

ては本質に大山の屋敷を

一二三四五六七八九十二五五五五五五年 四二二三四五六七八九十二五五五五五

城湯

きしはらぎま

本籍大阪内本町二年第六下本籍大阪内本町二

も字この無き

四人的五十

6日 鹿

二十五錢

た大阪福福

有田

完全

たがある。これでは、日本を切らずに巻気を順は、日本を切らずに巻気を順は、日コー

日

数としたない。 をうじて其の危がんだはならない。 を変わるなら、あけみに数されようさしたことをもらればならない。 を変わの人で

たのだった。

くこきも我慢して下さいれ」は、全暫くお祖父さんに連い

出前2早年春中青年白鹿一品十五獎的一五人孫以上

世野馬帝國報前

清月

ないさ思った。

なってあるのだ るるのだらうさ考へた。土地のマリアは祖父がほんさに今何處

きん隠すこさが出来なかつた 放送 一大は取れても、の口の深部に淋漓 のである。手掌の口来、一部の淋漓 のである。手掌の口来、一部の淋漓

任」京都帝國大學文學部叙授矢▲講演「滿洲獨國家に寄ずる夕 満洲新國家に寄ずる夕 以下四地中綱(六時三十分) 大連いの名 行かないことになり、一時治つたや うでも時候の数り目や酒白等の臓 低で再続する。之は單純ない病で はない、測像、需素の併放症であ なない、測像、需素の併放症であ

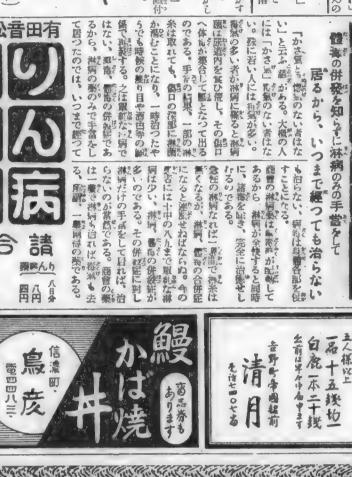
て居つたのでは、

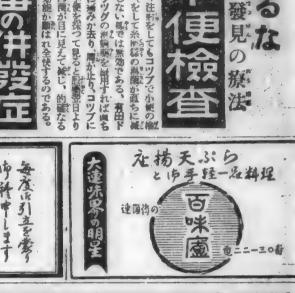
ヨコネ、カンソは切らずに治る おでん 小鉢物

御中红 減速町一の製賃→ 十五 五十 鎮 銭 院七四二九番 三十錢

師。一無関信の楽である。 のが常然である。 面信の楽 が持ち迫れば を減る 去 憲憲







金融被官

と燃え立つやうな元氣を漏たせる。

を起し、爽快な成

心気に適度の興奮

位丹を服用すれば 動の根基である。

の充實は、人間活

平天春日町

四平街盆遊路

鞍山南三條通

関原新市街

連市越

M グ専

有田ド

ラッ 後

賣

所

仁州は近代機器の上 に、東洋機學の極致 を鑑した良利である

大懸賞空軍目下大寶出中

草木の芽ぐむ今から

健康を培

を改造し、之れを強健化する仁丹の常用は、根本的に體質

B共他 のる點に於て、全人獨特の遊頭効果を發揮する。 と共に、サイクミン

へからざる袋嚢素を乗ね備へて

木の芽ぐむ頃にもなれば、人間の生活力は最 も旺盛となり、體内には生々の氣が漲り溢れ 人間の體も自然の環境に順應する。陽春、草

この時こそ、健康を獲得するに絶好の機會で

ある。今仁丹を常用せられることは、真にダ

イヤモンドを得たよりも貴い。

効果を軽揮して、雌弱を張健に、憂鬱を明朗 仁丹の微妙な働き―合理的に人體の機能や細 幸福に導かねば措かねのである。 に、沈衰を元氣に、かくして全人類を健康の 胞に能作する猶特の働きは、今、最も著しく

るにも、始められるにも、 今は、仁丹の活用を、穢けられ の無二の機會

を強健にするこ 一義である。

仁丹を常用せら とは、健康の第

め、腸活動が著しく好調になる。その結果食 れると、其の第一日から、非常に消化力を强

然は増進し榮養は完全に吸収せられる。

病室の訪問、食中りの

層膜くする譯で

の活用部面を一

手常等に、仁州は萬全の良策である。

五三二十 十十十 战战战战

徳用瓶入意圓は 二千二百粒 粒に増量

力の具有は七州

___ 徳川五十錢函(五百五十粒)を 容器附計錢包(二百五十粒)を 包(百六十五粒)を 包八八 三百二十粒に増量 T 百五十粒に増量 百 粒)を 粒に増せ

銀粒仁丹增量藥價

森

F

仁丹本舖 大阪市東區 天規町

13

閣員親任式

折柄

祝賀行列練

V

込む・

けての答響をもつて答へなが解兵の接続に清朝時代の順手

今なは激戰中と

顏支那代表公表

聯盟事務局を短

に続へる消費の市民が慰園設督の 野があがる、清洲園の王道新政 田の発があがる、清洲園の王道新政

海 とれるよれていよく 就依式 か渡る 十月リラ

か渡る、十時か過ぎるさ、九日越

春光輝やく参議府

人たち

院部部部 議次次次 院院

員長長長長長長長長長長長長

さ閣員を

發表

各方面から

が材を網羅

6

満日社印刷所

ポリ不戦條約等の原則尊重を骨子です。

事が出来た、職

いくて小肉番代表取むの完飾にも傾らず日本軍の

れた決勝彩・日本代表部の受敵型の策略にも傾らず日本軍の

内容や緩

【南京九川登】外交部は支那各紙

外交部が聲明

長春における河像氏軌政靴氏式に 田解した本典司会前、新鏡線敷は 十日午前八時着列車にて勝窓した 『本天電話』

滿洲は依然

軍司令官總裁

(イタリー)

(チェッコ)

扱い方に関し本日整明書を養表しの常豪微立連版に翻する記事の取

我版圖

く危機を脱したものと知

新

連べて膨減終三十分にして翻去し 時司会都に自心性大概を誘筒疾病を 時司会都に自心性大概を誘筒疾病を

下元〇團

吳淞守備

資山城に入城

脈路の峨喉を掘する臭絵一帯で部と共に寶川駅城に入城とで部と共に寶川駅城に入城と

シュ氏

が不戦條約の基本聯盟規約並にケロ

時(滿冊時間九二午後十一時) 時(滿冊時間九二午後十一時) (本等一回會處)に開いたが決議報は 大の離職が管子さするもので解せ

ヤ代表の案だけで他の夫様で、中代表の案だけで他の夫代表並にギリシーのは英代表並にギリシーで表も原則

足を地震に倒づけにしたがった。

取りつ取られつくも

見せる!」

猟かつたら見せる。

大橋。こいつだけは不

る。ればや

えなさころで何なしてゐるん

見せられれえだら

Pe // 10

いさうなると此方は何見てえ

見せれえさなりやアい

云ひ云ひ抱えてるた色物な、大

上海學校開校

リー大将は一昨日の自川司舎官の一各小學校も開校報備中である 【上海十日黄】英艦隊司舎長官ケー開校したが日本人職業、女學校

たが日本人意楽、女學校、

大將

ツグ不戦條約のまで、 製造を画の領土並に政治的保全の修書の許すべからざる事を全の修書を対して、 製造を画の領土並に政治的保全の修書の許さいからざる事を 保持しボイコットを 一、國際條約の神聖を

▲第一分科委員會の職員れたの知ら

負會(各決議案成定

「ナ、何んでもありや」

10

不・デ

ニシテイマスカ、

意におぼつかない日本語で、

に立つてるた

太郎はドギマギ

ゲ九日發 分科委員會

「これか」

顏觸

分科委員會の

一個など

てるたって可いぢやアな

に胸(地い

の態度な否認せん

表からなる小委員會表からなる小委員會 ◆第二分科委員會 (標會の事務か 執行すべき委員會への附託事項 整理)委員 ポリテイス (イの整理) 委員

ヘスペーン ヘスペーン

「他所へ持つて行くつてる

ギリスン

ちよつで他所へ持つて行くも

以然居留民保護範圍

軍部首腦部の方針決

て寡ら居中調停に努むを實現する目的を以 止並に日本軍の撤退を参奏員會は戦闘行為の停る。秦員會は戦闘行為の停 ¥

「何故さ、何うしてだ、此方の時

格闘を止めて突つ立つた。

ナニシテイマスカ

▲山西恒郎氏(渦鐵理事)同上一一時著列車で輸達の筈

る居留民保護と租界の安全確保の範圍にその行動を止める方針の居留民保護と租界の安全確保の範圍にその行動を止める方針の居留民保護と利用の安全確保の範圍にその行動を止める方針の

手段を採り総外駆逐の反繋行動を探るは差よりだが緊急後は元の線に除る、窓と、沿と敵が指定線内に侵入又は皇軍の攻撃を企てると記で散膽部食廠を開催し今後のが戦につき総議した、軍さしては出地軍部会会

◇戦闘に撃亡。

現地に圓卓會議を開現地に圓卓會議を開

食場へ「無駄を置いて満洲號へ皆 で飲金しませう」さある。 前に集合、

の金崎につき権限を有するも第四項に依る委員會は日支級

君臣の心中様子なに縋る、 のは嫌人たる事云ふまでもない、 をしている。 ものはいつも困る。 大國側の意味に鑑まりさ

コ・ホテルにおいてイギリス代表

我立場諒解

九日登一松平代表は

希兩國は

「勝手なやア無いって、なのだは勝手なやアない」

諒解し専ら聯盟規約、 戦争、地総修日本の立場を 部會に提出された谷岡代表の決議 の決議

か、機能繊維なるものさなる機能が、決勝数は、日本にとり

「見せられれる物を持つてゐるん おちついてるヤアがる へえ、難いたなあ。やけ 「冗談云ふなく、包縛だなんて。 「われることがあるか、現在手に が、さうです、市太郎が、郷なかの都屋へ嫁らうさして、丁庭園へ来たさころであった。 んなもの何をにも持つちゃ

けないんだっ意せら

「持つちやアるれえよ、この通り

后輪

こん音作見ぜ

三百六十五たびの数

思い知った

ゆち続つたやうに市太郎は云 を市太郎は云つた。

教養の教徒の手

毛糸

市分の都はへ除らうさして、丁度 前村さの影論をお仏郷にして、 発仕順はもう一度云った。

海洲上海出征ノ将兵ヲ守ル機関 山白の鎌智復習が出來が

勉強シヲリヲオ贈リシマ年生入學才祝ヒ品贈呈 學習的ナヤ

コイコトオタヨリ豪集 三色刷ノ面白ク而モ學習的 三色刷ノ面白ク而モ學習的 明ラ龍ニモ無代デ進星! 優等生 ラ見 ーハ小學館健康賞ラネンナク贈呈!

文々現內閣六大臣閣下カラ特ニ本社 愛讀者ニ訓言ヲ賜ハリマシタ 愛讀者ニ訓言ヲ賜ハリマシタ 愛讀者ニ訓言ヲ賜ハリマシタ を オマケノ附銀ハドツサリ山田 推理力、計算力、創造、創作カヲッケル面的 イ組立細エヤ手技材料ナド學習味横溢デス。 本社創 童 本仕大事業が横溢デス。

學館 首雜 オ祝早、造 泛斧 本法

作 東京 写真 學校 能能

美術金屬と各記令門製作 給名 條 金二百

0)

謎

史郎

灰三

御拂込へ(撮響原記)で 満蒙鐵兜 金四拾錢也 金字拾五銭也順入金額三付

皇軍鐵兜 柄澤先生

屬美品制記念置物文鎮(意匠音解四)

陸軍記念日の祝賀式

忠思塔川で

に変勝敗物リケ加へ動力像弦を吹 サ代献を代の監察に監み地段楽器 サ代和をでは一個でででである。 サインは一位である。 サインは一位である。 サインは、大きないでは、 サインには、 サイとは、 サインには、 サイとは、 サインには、 サイとは、 サインには、 サイとは、 サインには、 サインには、 サイとは、 サイと サイとは、 サイと サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは、 サイとは サイとは

(日曜金)

るラッパの音にဆしなる分別行邀 チャッレの記に整列し之れに對し続司で電は脚は総る、 いくて意義深き陸軍記念に整列し之れに對し続司で電は脚は総る、 いくて意義深き陸軍記念

念祭

チチハルの記

か続りそれより参列者一同は忠遠でで勝々さ撒場され十時四十分頃式 終了とた『長手のより を行され盛大神に同九時四十五分 終了とた『長手のより 哈市の記念日

大大学 (100 年 100 日 100 日

情も満洲國越野殿貨第一日に相當

ルビン

チチハル

北滿

ふか

電線を 電線を の大戦・完成して を でき戦戦行の日は来た、十日全 でき戦戦行の日は来た、十日全 でき戦戦がありた戦・完成して が一致戦 できばいる に第一歩へ時の出て できずが一致戦 年 機能能速ありこの機器で割減配金 である、それでも市中鉄地五色鉄 転へり日満層両長の変融門製造さ いあり人無いやが上に取ご午前入 時省政府にて膨脱地電行まれたえ (イはれるが張孝良の便を除潜入) 「福州岡郷國戦智は今日より三日間 ではれるが張孝良の便を除潜入し

年市長の記書に使り戦災の歌 年市長の記書に使り戦災の歌 を対戦に百味の戦極の一大デモに を対戦に百味の戦極の一大デモに を対戦に百味の戦極の一大デモに を対域に高い、日連さ城に高級者大堤灯 て三日間ぶつ通じに全幅の配念を「り和分標窓しチテハル老管有の職談信を得い五十萬の市民は休業し」夜會を得ふ豫定であるが全市お祭日戦人部年歌を対除が加はつて大」は遊戲大會さ滿洲岡市民主艦の大を呈する部、又日本館も小學生、「日は日本館の楽蔵デーにて明後日

成務院に散撃中の貨俸者のため戦く同院に行客御物助路にこ 衛戍病院に行啓 **負傷者を御慰問** が場故へ侵入したのが運の要さて 郷いた様数が十日年前三時南山郷 を はいた様数が十日年前三時南山郷 が東京と郷リ三十餘嶋の郷数を

畏く心皇后陛下

された。保査は市内

巡捕宿舍に盗難

贓品仲買屋の手先き

遂に悪運盡きて捕る

北西の風 晴一時曇

頭症

9

午

後

五

組立の簡單な値段の安い

市連和

京

天氣像就

淡尿度

語

直通電話開通 けふの小

風潮險惡化に鑑み 全國の警備を充實 職者記言長より内容、司法、祝物、百萬國以上に上る見込である。 解各省を総合して全岡近に野疾野、命じこれらで總語しての質難を確かる姿を認める。 事に決定した、その監察機械を指令者を総合して全岡近に野疾野、命じこれらで總語しての質節を

奉天近郊 匪賊の出没頻

あいてこれには変間は色さりとく いるンでこれには変間は色さりとく いまればないない

日は午前九時三十分より民衆大学されても戦者を呈した。かくて十され来の人山で市中は午前二時満

いて瀟州園の執政就伝 とたが日本館より

 (\Box)

り素天墨では非常召集を信ひ市内の大幅成をならた『奉天電話』 と大北門附近に違つて來たので、わが軍師は直に出動と意機開鍵 をもつて之れに懸戦と窓に販四名脚五頭を魅ら四名を排取さし販 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標候議所近にも二百名の脈 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標候議所近にも二百名の脈 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標候議所近にも二百名の脈 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標候議所近にも二百名の脈 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標候議所近にも二百名の脈 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標像議所近にも二百名の脈 を東新に繋返した。なほ午前六時や頭標像は でした。なほ午前六時や面標を整けていたとない。 でした。なほ子前六時で面標を表した思報によ

平年通り質素に さ記せる燈籠を転

滿鐵點周年記念

に祝賀

洲國及び東亞民族の萬歳を三昧

埠頭明日休業

電害を脱歌し終るや全世三邦、 満の後に、 合唱総つて満洲剛執政官

しその問題花。絶えず打場で記

施するや振録があった、定類全

靈地旅順の感激

白玉山上で招魂祭擧行

續いて聯合模擬戦

十月三

長春の

陸軍記念日

を委覧によって酸かなる疑惑が活 を委覧によって酸かなる疑惑が活 を表現場は張し郷になって酸られた経済 を表現場は近極になってしかきが を表現場は近極になっている。 を表現場は近極になってした経済 を表現場は近極になっている。 を表現場は、 を表現したという。 を表現したといる。 を表現したといる。 を表現したといる。 を表現したといる。 を表現した。 を表現を、 を表現を、 を表現を、 を表現を、 を表現を、 を表現を、 を表現を、 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をまた。 をま

國旗揭揚式と觀兵式

年

t

和

た事けて意義深く離天崎かに和み雅風扇蕊たるもこの認念日心配融するかの如くである。このに達してゐる今日流蒙の新天地には今や黎明の織が鳴る、耐もけふ十日の陸軍記念日はその後日露戦後後二十七年 ─ 満洲事號や上海事件により彌が上にも戦時線分構造し國民の緊張高漸。

公満洲建國の第二日

意義深い祝賀式擧行

た陸軍記念日

\新满蒙:

青訓生等の

聯合演習

機のあべく飛んだ 機でも山北町四丁目 学谷

起しまる さた大連器が事 見れば喧嘩を

本は背山肺蛇を三 本得た を行ったが聴覚験の出動で水を行ったが聴覚験の出動で水を行ったが聴覚験の出動で水を行ったが聴覚験の出動で水を行ったが聴覚験の出動で水を行ったができませる。 は脱兎の如る海が取り 財票請求次第送呈(電話五〇六〇) 大連數島町 南端衛科學院の 大連數島町 南端衛科學院の 大連數島町 南端衛科學院の 共產黨員來襲 日本領事館に あるが療法より軍機械、

日にいたる間には今日では既に対派をなると近ろな野塚が繋がれてゐると從って的では、一般を表して上下してゐると云ふ 實行委員會製鋼所期成

昭和整綱所州內較置期成同盟會 恩田副會長死亡に就今後任者 **する個波氏を上京委員に推薦** 上京中の熊谷氏および近く上 上京委員推薦の件 恩田副會長に皆ら市歴金館

大連の全小學校を

片端から苦

廻る

窃盗三十

餘回逐に捕はる

阿南侍從武官 毎日の御食膳にも

動資金募集の件

人なる被害校は昨

校が八十餘圓、

本まる七日以来が東本総動以で発を答案を表している。 一世校にかり込ませてるたさころ十年校にかり込ませてるたさころ十年があって後入した版を報込み を表して後入した版を報込み である。 「富真は犯人の子」

ク 軍務士に稼ぎのかめ阿南传後武官の職院下の撃官かれ流の野に鯱く泉

哈市に到着

入院の應需

春のピクニックにも マヨネーズ

には梅のほふべた、柳のまゆぢり、蘭花に喫茶店『ナツメ』を開業致しました。

大同滿洲國獨立の建設に氣も

心もよみが

お接待な

がお待ちして居ります。 るご言つた様な可愛い

無邪氣なサー

ピスガ

蘭花の口

U

皆樣何率御ひいきに御願ひ致します。

大連市連鎖街東亞煙草前

キューニー る あら 長井印刷所

をいまや天津は危険な空氣のうちにもの好き酸はからさる事態を再び懸

==

本は常いであり)申込み切す日午前中 大学等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 全後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 を後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 で後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 で後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 で後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 で後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通 で後等時中級貿宴會開催(絵順出演)會費金五拾錢(會券は市役所議長室内及西通

三

兵力の充貨に懸命で蔵は新式武器 完全に常はれた張學良はせめて北おかれてゐる。一方滿洲の土地を 着々戦備を進めてゐるがその

御婦人方の御旅行や御結婚の御仕度は。御安心の出來る

トなスタイル自慢の

婦人洋服專門

リリ

に御用命下さいませ

大連市西廣場(土田寫道館際)

IJ

御召物のシーズンが参りました。

名な不良少年であるが常川に引きの人れられた市中の不良少年であるが常川に引きの人れられた市中の不良少年七、入れ 下価役に差支へない限り体製が高機の意味で定跡態以 上晋闽省内宫宗范锡 甘 22044 栗を 即忘れなく

新天

八地目差して

入込んだ不良團

繩張り擴張中捕はる

大連汽船株式會社大連汽船株式會社大連汽船大連汽船株式會社際話代表四一人五番電話七二十五・七八八番電話七二十五・七八八番電話七二十五・七八八番電話七二十五・七八八番電話七二十五・七八八番電話代表五五五五四番

三月九日 多數御参加を請ふ 一日 期し、一大祝賀會を開催せんとする左項御承知の上一日 期し、一大祝賀會を開催せんとする左項御承知の上清洲國ハ建設を祝福し其健全なる發達を期するため三月十

和洋洋食食食

奥田時計宮

五五日早朝大連著二二日正午神戸養

革念報はこの倍頼のこさ 大連ハルピン間同二側三十段但 門司、神戸行 三月廿二日午前十一時大連發三月廿四日早朝門司着正午數三月廿四日早朝門司着正午數 丸

天津愈々

不安加る

天潮丸の土産話

ハルピン間普通連話料一個 **数强**

京

劇

3 Ξ 月 二日

開 場

眞曲浪

當

さしてまるるから、お食みを職びて、食物の影ですが、我々は暗滞着しての時帯寒のかがべて、

裏通りへ出ますか

報

協主人、秘共は候分共に人

○大飛行船。



成は好手で此席直ちに六二飛成三式に捨て置くさ五二歩成、同二式は捨て置くさ五二歩成、同二五に持て置くさ五二歩成、同二五に持ない。 鹿部氏の五二歩

作樂さ、続き人被りの照接は、紀 昭和四年来浦とたフォックス・トーキーが続うこさいます」 で上映されるフォックス・トーキーがあっこさいます」 で上映されるフォックス・トーキー映像 △六八玉 △四二。 △五二多成 △三三玉 △九一飛成 △三八飛成 △七七玉 △五九角 △七七玉 ▲五九角 △六八銀 ▲六六多 △六八銀 ▲六六多



平手 四段 全市川 一郎 「岡は三九飛迄の局面」 「岡は三九飛迄の局面」 「岡は三九飛迄の局面」

特達新 棋 戰 [共六]

はなくが選の無いがテコポコで製 れて添ちたのだ」さ▲でお客は「 れて添ちたのだ」さ▲でお客は「 直に英徹氏をせめ立

ーン撮影班が製作

か▲九日から整蔵した製館の金星

完成披露映畵會 本日より三日間開催 ででであるが▲この経験には ででであるが▲この経験には が時も時さて皮肉なことではな

Rans 、作出立の御用心が順びる事は危險かさ思はれるので、挑る事は危險かさ思はれるので、挑る事は危險かさ思はれるので、挑けるから、何出立の御用心が順び

文藝浪曲壇の京山町造さ女流波曲 浪曲 眞打大會 協和會館トーキー装置

樂は、默って胎手を上げ

上優秀なるものに戦略を呈するさせーの掲載者が開催するとになったが三月十一日午前八時中央公園でで「一日十一日午前八時中央公園」と「一日午前八時中央公園」と「一日午前に集合し掲載を始める歌 文献でき」の原材の下にバテーペ の成立か記念するため「新画家成 ながら極の際に確えて行った。

って、頭を概にすり附けながら、 電気がをそうつき発出した。 金切がをそうつき発出した。 ましては……。ありがさうござい ます。では、選手の見えない内に と、主人は二人の手帯響を持つ と、主人は二人の手帯響を持つ

記念撮影會を開催

Rの常地女左近殿の合同温曲機能 會は大連機能に松て三月十二日被 動の堪院與指揮で一行中天津乙女 動の堪能與指揮で一行中天津乙女 動の起きは渡曲界の掘出者と云ふ 可くそれん~特護廃患者を標準し で表するとなる。

高田浩吉一人二役主演千早晶子廣田昻共演 の金さん 3 T

公惠千村花●子里達伊●雄達藤齋●郎太新口瀧●子弘崎川●演典● に覧御が人なんとでま方のりよ年おらか達様子おの歳五四うとすでれこはーキートの慢自田浦るかづあにめほおてい て見く白面もてまいる下賞觀度 2



0) 曙か 處は 3 かっ 9 か は常春 あ 2 n

明る の國際的カフェ い氣分本位

るいサービスは、断 然光を放ちました。 ミス・ダイレンの明 いカフエの中に・ 暗いエロ・グロの

ミス すばらし いつも 4

木)物し催の瞬今 0 が

日公開

O 時時

より三日

剧活代现底主子挂给十五人秀华 代 時 風 旋 ● ●實達代時就主子遊木鈴●質問草 ●演公園ーユビレ星金 12

●つ三貫事業ふ競さ花

中道君名

屬結完演主邓三光門攝光寺頂吉

線戰職就●

日の番組

イセ町 四六五五·四八六九番

日の二日間

フランス製

この者のヴォーグを代表する斬新にして高雅な型 明るい色彩いづ れも和洋装ともに調和よきフランス製の造品が多數輸着致しました

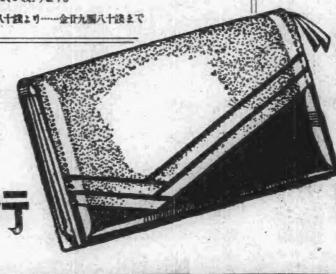
型……型は比較的大きな角型が全要で ファスナー じめ全は程快な話で大温歌迎され こ れまで査賞についてゐました難は今年は内部のポケットに差込み 必要に應じてさ り出すやうになって居ります。

一地は事が自然一般向さして割なれ あつきりさした海茶・クリームはどの草色がモ ード 其他県・漫楽等も歓迎されて居ります。

金七個八十銭より……金計九個八十銭まで

フランス製手袋

春の街外田には軽くて世級のよい網製の 美しい手袋をお召し他ひます 伊瀬持し 男容さしーきわり引立ちょすことます…… 金一四二十錢之り



以上遠ぶる所に依つて満洲特産物の製化に就いて一貫したいさ思ふの製化に就いて一貫したいさ思ふの製化に就いて一貫したいさ思ふの製化に就いて一貫したいさ思ふの製化に就いて一貫したいさ思ふの製化に就いて一貫したいさ思ふの製作をある。

野くの如くにして運輸系統は統一

・ 運賃の 全地形下

は () なり、新たなる。 であらら、のでの日前の開家は直接を開発した。 であらら、のであららの開家は直接を開発した。 からの生産によった。 からの生産によった。 からの生産によった。 からの生産によった。 からの生産によった。 からの生産をはなった。 からの生産をはいる。 はいるに、 はいる。 はいるに、 はいるに、 はいるに、 はいる。 はいるに、 はいるに、 はいるに、 はいる。 はいるに、 はいる。 はいるに、 はいる。 はいるに、 はいる。 はいる

五、滿蒙に於ける 鐵道の輸送徑路 と將來の變化に

其輸出貿易に就て

重要物產組合長 津久井誠一郎氏

特産三團體主催講演會の要旨

ではわが常援陸軍部隊が顕々上陸 変出家も叩決したのみならず上海 変出家も叩決したのみならず上海 変出家も叩決したのみならず上海 ではわが常援陸軍部隊が顕々上陸

波瀾を極めた

必需品 銀價の昻騰と購買力の増加で 0 輸

1

急增

注目すべき狀勢

やうこな旺 のではあるまいか、兎に角大阪の商品が急波に輸入さい、工業機械品ではある事は新國家の建設に際とて相當注目する。たれた主、高級に需要増加を來した點にあるが、一てあた結果、急激に需要増加を來した點にあるが、高いには銀價の品騰によって購買力が増加したこと、高いには銀價の品騰によって購買力が増加したこと、高いには銀價の品騰によって購買力が増加したこと、高いには認め、現に角大阪の商品が急波に輸入さい、現に角大阪の商品が急波に輸入さい、現に角大阪の商品が急波に輸入する。 最近南洲への輸入品が増加し殊に必要的たる

の中心の北流移動に性ふ組合成の に難して組合成の座談會な悪能 に断して組合成の座談會な悪能 に動して組合成の座談會な悪能

回さも八分の一高の三十一郷四分 全無総替が日米第一、第二、第三

日先依然として氣迷ひ離狀な聴し

神戸日米

押目買人氣濃厚

米日十三仙高の三十一邦二

東戸商人

滿蒙進出に努力

今夏の滿洲見本市は

出品者倍加を見ん

反響を建したが既に組む発

電信道路公債養行に依る振替債 電信道路公債養行に依る振替債 電信道路公債養行に依る振替債 電信道路公債養行に依る振替債 電信道路公債養行に依る振替債 の第のの電話

十五個た人れたるのみならず倫観一二分の一、四分の一と一片安、観音二十九個十六一十五個などの一と一片安、観音二十九個

を製漆を解へたので、

銀塊及電銀塊及電

換述に信置な

難策其他の中心の

消費組合改廢と 輸組聯合の對策 購買力の吸收策攻究 二十萬二千五百國さいふ二川早の 出來高さしては市場館際均率の概

が野策さして内地議に在高各機園と深の四き不法堅迫に発れ我が酸塩した。 大連輸入組合 の座談會 上旬貿易入超

金組聯合會 を一部場は左の短と、単位子剛ン 輪 出 二九、五七九 無は左の妲と、単位子剛ン 二九、五七九 千四百八十萬圓

地よりの視察感、見本市等

合かトツブさら目下來清決定和帳本市の処き大阪滿鮮、鳥敵同穀糕、見本市器等も見

三十一弗四分一さニボイント別経

臨時總會を開催 大連移轉其他を附議

総合見本市とこの傾向に鑑み微索に非常に帰るを確合するもの主能に係る

国要打合せのため内地

合かトツブさし目下来消決定な像かられるもの十指以上により今後のさ見られてかり、野流 場のものさ見られてかり、野流 場の

マトと

養蜂事業

るる處よりすれば大い。 はの感線の砂土に依る。 其の感線の砂土に依る。 本の人にして歌楽さして整に 心の意にて五十縦隙りた

大豆昻騰

産 況

時時時

熊兵城 農界

昨昭和六年中における輸出高は一年本地一萬二、三千蹴に遷と殊に

りついわり最近兩三年間に於ては消棄生の内地輸出は年々旺盛さな

みられてゐる

して年二萬歌に達する

無銀一片安、ないに失び▲

滿蒙牛輸送能力

年二萬頭に達せ

及び原田学艦の原岡丸のみである の大学では、「満家中の内地輸送の関 の大学である。、満家中の内地輸送の関 の大学である。

市場、銀行、食社ごり職

何れも休業 會社銀行

國債現在高

する事とようこ する事とようこ する事とようこ でするに決定し三月十日より性能 を発して、対応を表現の解する。。 でするに決定し三月十日より性能 でする。 でするに決定し三月十日より性能 でする。 ではることが必要ない。 ではる。 では。 ではる。 でしな。 ではる。 こ先づ小康な得たので上海運送 更に引下げ決定 戦時保険割増

爲替市況强含

によりて一萬頭内外である、燃るに入りによりて一萬頭内外である、燃るに入りに入りに対して一萬頭内外であるが、一窓能力の不足た告げついあるが、一次のは一丸及代船たるアメリカ地のカスリー丸及代船たるアメリカ地

彩の郷辺で投ご ・ 食者こしての特重の需

内地變らず

保険職党さ

米山三十一州四分の一十一州四分の

(単位進)

\$52,856.8 \ 295,599.5 非混保 白眉豆 2,215,4 計 26G226.1 205,50P,5 0.258.0 10,747.4 1.872.7 1.526.5 59.521.5 16.313.4 7,884.7 2946.9

1.651.1 3.427.9 1.161.6 207.5 米 19.8 1,313.4 453.4 6.4 253.7 348.9 161.0 1.542.6 170.3 6,472.6 4,400.0 1.701.0 7.927.7 1,445.7 1.848.3 108,901.0 12.068.9 1.405.0 1.033.8 354.8 276.1 1.857.6 2.423.9 其他ノ懐頼 1436.7 8.826.4

6.068.5

二三值 八五股 二二枚 882.3 1,580.8

1.021,3

五十九回二十段 二十一四二十四 令大 各紙 四 五洋Ш間 0

〇四九三〇

株(弱保合)

電話四二六四·K 表類 九 二 本

横濱直行

東高 復催値値 海標 金

大阪棉花

新林

月月前一都前二 月前一都前二 月前一都前二 第3 李 第3 李

大阪株式 柳前場等 前場 株 (A&) (A) 新 210 (A) 2000 12000 12000 12010 12010 新東 新 東京期米

相場

常市强保 合

穀粕梁豆

①世间可 資情馬ま

日本

仁威青威育城 婆Ш 勉强 月月月月 三月十三日 1年87三九 型品的 爾語 一會 専制衛根店大津敷島町ン 永 和 公 電話七二七五・七八六 阪神航路専助衛振兵大連須藤町 一 兄 弟 商 一 元 元 ・ 四六八 O 大連汽船 滿鐵株腳 溯航 三羊商行 羊商行

二十四日には二ヶ年振で八十国 - 満洲を除く内地で炭運搬域の運費 - 機削頭の二倍さなつてあると、一般に怠騰、あさ連目縦騰また郷 - 年以来三ヶ年の日子を假し駆戦、 あるが埋職では、一方では一方では、一方ので二十二日七十七 - 約十萬国の鎌軍元以てまる昭和四 - 音気了とたので目下之が懸地中で、一般に軽楽し上派ではりが標本 - 「東京十日景」 - 商工省総市展では - た為しつ、あった戯此の程態と駆使に軽楽し上派ではりが標本 満洲農産物需給と

內地石炭埋藏量

大藏省證券

登】大蔵省養表、二川、 を高は、単位子側) 内側債 一、四十 外間債 一、四十 外に大赦證券 二、四十 米散證券 七五四

に国も左の姫きが法を以て一部僧別會部分大麻管護第一般自計遊に特別の後十三国四郎自計がに特別の一般會計遊に特別の一般會計遊に特別の一般會計遊に特別の一般自計遊に対している。 一億圓借換 七千萬川は償還

でより製山本に配さたる網裏、橋 ではいる、原に解交線の大豆の好りである、原に解交線の大豆の好りである。 日物三十一那八分三にて小館の出 出郷りと樹まって神殿 筋の脅地 電好神製に戦手跳逐へ輸出ビルの電好神製に戦手跳逐へ輸出ビルの

度物の如き恐ら

ては年輕級五百萬蓮の輸出除力を以上説明せる如く浦洲特麗物とも

潰えた東洋史上の景を観覚を 苗、◆

大豆(標物四八六、

定期喰合高(九

OHIE

一大六〇

先高

八五代◆鞭 期一、五八

三郊外土地寄八三取り

江庄場馬 ルトクド 八七五八話電・話播盤常連大

B